臺灣日日新報
夕刊
七月二十五日
夕刊定價一部二錢
編輯兼發行人 佐々木[illegible]
臺北市榮町四丁目參拾貳番地
發行所 臺灣日日新報社
基隆支局 [illegible]
臺中支局 [illegible]
臺南支局 [illegible]
花蓮港支局 [illegible]
大阪支局 大阪市[illegible]
東京支局 東京市京橋區銀座[illegible]

# 燃料國策の第一步

## 無水アルコール六十萬石を生産

### 臺灣で耕地の拂下を受けて

### 糖業聯合會の腹案

【東京二十五日發本社特電】無水アルコールの生産は燃料國策確立の第一階段として內閣調査局にても關係各省の全智囊を傾けて慎重研究中で、調査局としては可及的速かに各省の研究內容を取纏め生産計畫の具體的な立案は商工省に一任する段取となつてゐるが、此間の糖業聯合會にても右の如き機運に促されて甘蔗を原料とする無水アルコールの生産に關し目下慎重に調査研究中である、而して糖業聯合會としての腹案は大體の無水アルコール生産の爲めには現行米穀統制法の改正が最も先決問題なりとし若し萬止むを得ず右改正が行ひ難き時は現在のガソリン消費量の一割約六十萬石の無水アルコールの生産に要する耕地五萬甲は官有地の拂下げを得加之甘蔗千斤當り五十錢見當を仰がねばこの工業化は充分折合ひ得ぬものと見てゐる

---

**工業日本の偉容を高揚**

# 世界動力會議

## 六年後に日本で

### 五十ケ國の權威を網羅

【東京二十五日發】全世界の眼が今や我が躍進化學界に向けられてゐる折柄、工業界の動向の指針である世界動力會議第四回總會が我國にて開催されることとなつた、工業日本を飾る快ニュースで、同會議は世界五十ケ國の學者、政治家、實業家を網羅し組織されてゐるもので、總會は六年毎に各國主要都市で開く事になつて居り第一回は一九二四年ロンドンに、次でベルリンにて開催され、今年九月には第三回總會がワシントンで開かれる事になつてゐるが、最近ロンドンで開かれた同會議國際執行委員會より日本動力協會に一九四二年の第四回總會は日本にて開催し度きにつきワシントン會議迄に至急諾否の回答あり度しとの來電があつたので同協會では工業日本の威容を世界に高揚すべき絕好の機會として快諾することに決定、近く櫻木主三郎會長は廣田首相及び頼母木遞相等と會見、政府の贊同を得た上回答を發する事となつた、同協會としては第四回總會を東京に開き之に要する經費も五十萬圓計上する事になつてゐる

---

# 聯合艦隊の來訪

## 基隆、馬公入港日決定

【海軍武官室發表】聯合艦隊の臺灣訪問は九州方面で颱風に遭遇した爲め遲れて七月三十一日第一艦隊は基隆入港、八月一日第二艦隊は馬公入港、八月四日兩艦隊は基隆、馬公出港、追つて第一艦隊在泊期間並に入出港時刻その他一切の行事は從前の計畫をその儘四日繰下げることとなつた

---

## 警務部長會議（第二日）

# 答申は總括的に郡警分離に贊成

全島警務部長會議第二日は二十五日午前八時から督府會議室で前日に引續き諮問事項の答申を續行した、前日同會議諮問事項に對する各部長の答申は總括的に郡警分離斷行を强調、これが答申の中心をなしてゐる、各部長の答申內容は左の如きものである

△細井臺中州警務部長 [illegible]部長の制度の改善、服務改善の意見

△宮尾高雄州警務部長 警察官の規律保持の上より見ても郡警分離に贊成、警察費の一部を地方費に支弁する制度を考究せられ度き旨の意見

△佐々木臺南州警務部長 警察活動の指導指針の確立と郡警分離贊成意見

△諏訪臺東廳警務課長 廳長の權限擴張、[illegible]の改善に就き意見

△手貝花蓮港廳警務課長 廳長の權限擴張、駐在所制度の改善についての意見

△水野澎湖廳警務課長 保甲制度確立についての意見、非常警備計畫につき意見の開陳あり

諮問事項を終り正午偕行社に於ける軍司令官の招宴に臨んだ午後は注意事項と各州廳提出事項を協議する豫定である

---

# 陸軍新聞班

## 權限著しく擴大

### 今回の官制改正

【東京二十五日發】今回の陸軍省官制改正に伴ひ軍事調査部（新聞班）を軍務局に移した事は陸軍が新聞班の機能を重視し今後の積極的活動を期する爲め內外の統一ある計[illegible]つたものとして注目される、新聞班は大正八年設けられ昭和七年調査班を設けて軍事調査委員會を構成し更に昭和八年十一月軍事調査部となり、二・二六事件後軍事調査部長に軍務局長が兼務してゐるのを更に軍務局の下に入れたものである、今回改正に依つて何等官制化されてゐないがその權限は著しく擴大された譯で同調査部は自然消滅となるものである

---

**銷夏寫眞**

廣田內閣の戲畫
“進めオリムピツ[illegible]”

---

# 冀察政務委員を

## 曹汝霖氏が辭退

### 王氏が乘出せば參加か

【天津二十四日發同盟】冀察政務委員會委員に任命された曹汝霖氏は就任を辭退し二十四日朝北戴河に避暑した、右に就き某要人は

曹汝霖は王克敏が本格的に乘出すことになれば相携け合つて責任の地位に立つ腹であるがさもなくば宋哲元に近き委員會に進んで參加する樣な人ではない

---

# 湯爾和氏も辭意

## 冀察側の强硬な反對で

【北平二十四日發同盟】王克敏氏の擁護に依つて冀察政務委員會委員に任命された湯爾和氏は二十四日開催の冀察政務委員會定例會議に出席し正式就任の豫定だつたが王克敏氏の後を追つて辭意を表明した、依つて湯爾和氏の就任は暫らく延期となつたが、右は王ブロックの冀察政權參加を面に冀察側の强烈な反對あり、二十九軍系要人中に排擊的空氣濃厚化せんとし王克敏氏の再北上さへ疑問視されてゐるため王氏の北上如何に依つて去就を決定せんとするものと見られ、王ブロックの冀察政權參加に早くも一頓挫を來した狀態である

---

## 王氏就任まで代理を任命

【北平二十四日發同盟】二十四日冀察政務委員會定例會議に於て蕭振瀛氏の經濟委員會主席委員の辭任を正式許可し、後任者たる王克敏氏の就任を見る迄鈕傳善氏を代理せしめるに決定した、右は王克敏氏の北上が極めて困難となれるため臨時に責任者を設け滄石鐵道建設案の具體化に着手せしめるものである

---

## 滄石鐵道建設案可決

【北平二十四日發同盟】冀察政務委員會は二十四日會議を開催、委員長宋哲元氏以下十二名出席、協議の結果宋哲元氏の提議により滄石鐵道建設案を可決し之が具體的方法は交通經濟兩委員會で研究の上速かに建設に着手する旨決議した

---

# スペイン革命の事情調査を電命

## 矢野公使からは唯一本の公電

【東京二十五日發】スペイン革命の勃發以來旣に一週間を經過したが、矢野西班牙公使よりは僅か一本の公電があつたのみで事態の推移等全然分明せず、在留邦人の生命財産の安否が氣遣はれるので有田外相は二十四日佐藤駐佛大使に訓令しスペイン事情を調査報告せしめるとともに矢野公使と連絡して邦人の保護に萬遺憾なきやう訓電を發した

---

## 基隆市參事會

【基隆電話】基隆市では二十五日午前九時から二階會議室にて市參事會を開催

一、第一艦隊入港に對する歡迎費八千四百圓支出の件

一、双葉小學校教職員官舍處分に關する件

の二項を附議何れも可決確定した

---

# 關稅制度を調査

## 複雜化した國際通商關係と國內產業の現狀とに鑑みて

### 商工省が研究開始

【東京二十五日發】商工省では財政收入を目的とする大藏省とは別個に國內產業保護の立場から關稅制度の調整を計るべく二十四日省議を開催の結果これが基礎調査に着手することとなつた、卽ち最近の國際通商貿易情勢並に國內產業の現狀に鑑み從來の如く稅收を中心目的とする通商擁護法のみでは到底これに對應し得ざるものと見られるに至つたので、この際關稅制度の改革を圖ることに依り複雜化せる國際通商關係に適應せしめるとともに他方國內產業の全面的保護助長を圖らうといふので、この基礎調査の主眼とする所は貿易商品に對する現行關稅の妥當性を再檢討しその修正を加ふる場合その範圍程度及び消費稅の併用の可否等に關し研究を進める筈であると

---

## その日その日

○「庶政一新」の陣中漸く露從、これぢや、內閣自身が「進むか、退くか」の土壇場に立たう

○國策一つ決めるにこの不調和との騷ぎ、サテ實行となつたら……と思ひ遣らるるのも無理はない

○總てが斷片的でとりとめが無い內政然り、外交然り

○ぽんと一本、混迷から確信へ——統一したる針路を示すべきではないか！

○今度は武器を强要して支那市場を強か上に疲弊させやうとしてゐる國がある、波の彼方から

○全支民衆の經濟生活を豐かに、安固に、幸福に——帝國の一貫した共存共榮の對支方針はこれ

○西に動く歐洲政局の地殻運動の中に、スペインの動亂が國際化して、時に風雲を呼ばん形勢

○一觸卽發は遙る彼方の空に——

○必要に應じてさつさと機構を改革して行く陸軍省、ここでは、前例や官僚は餘り流行せぬらしい

○國民精神の振作は、帝國の大精神を悟らせ、自ら日本國民たるの矜りを持たせる事にある

○同化策の徹底は、結局、內臺人の血の混一を目標とせねばなるまい、此の具體化が卽ち同化政策

○かくてその本流を遡み無く悠久に流れしめる——相融く三會合も要はそこに眞意義を見出される

○アイス・キャンデーの不當な競爭、危いと思つたら果して、夏季衞生 須臾も忽せにすべからず

---

# 日本は自重

## 前途に見通しがつく迄

### 會商再會に應ぜず

【東京二十四日發】メルボルンよりの報道に依れば豪洲政府首相ライオンズ氏は現狀を基礎とした日豪通商再開を決意發表したとあるが帝國政府は交渉再開に對する訓令を未だ村井總領事に發せず、要に豪洲內外一般事情を靜觀し會商再開に對する豪洲の誠意を充分見極めた後再開の訓令を行ふべき[illegible]を發した卽ち帝國政府としては現狀を基礎とする再開今日においては先づ豪洲側が

一、日豪通商關係の現實に鑑へ日本品輸入を徹底的に制限するが如き今次の輸入許可制を撤廢し

一、高度關稅引上を撤回し對[illegible]とも英國に與へる特惠關稅と一般關稅の中間稅率を許與する

程度の根本的譲歩を決定するにあらざれば前途に希望を有するを得ないとし[illegible]つつ豪洲政府の具體案提示を[illegible]

---

▲牧山竹松氏（三菱商事臺北支店長）二十五日來北（日の丸館）

▲永井清次氏（日糖監査役）二十五日來北（吾妻）

▲加藤詢氏（日糖彰化製糖所長）二十五日來北（吾妻）

▲古澤臺南市尹 廿五日來北（鐵道ホテル）

▲陳啓川氏（陳中和物產取締役）二十五日來北（日の丸館）

---

## 無絃琴

東京で[illegible]女學生たちこの頃便所へ[illegible]ここに早稲田、行くと言つて[illegible]おかしい事を言ふと思つて[illegible]早稲田のWが[illegible]▲但この「早稲田」[illegible]

……」と非常にフンガイする事だらう▲不景氣な時代に切めて話題くらゐは景氣の好いものにしたい。目下山梨縣[illegible]巨摩郡增穗村では一億圓といふ財寶の發掘を一生懸命やつてゐる▲話の筋は、江戶城明渡しの際、小栗上野介が右の[illegible]へ時價一億圓の財寶を埋藏してあるとて、小栗の臣に係る者が四千圓の發掘費用を集め去る四月以來、多數人夫を使役して掘つてゐるさうだ、之で金銀がザクザク出たら富士山花咲爺さんといふところ。

---

# 戀愛市場 (57)

松波治郎作
宮田彌太朗畫

## 賣嬌爭（四）

「二時間つて云ふのに、隨分待たせるわ、もう三時間ぢやないの」

水木のそばで、しづ枝は、不平らしく、いら〳〵して、幾度も腕時計を覗いた。

「おい、人を待つ法つて知つてるかい」

「それ、なあに」

すると、水木は、ぐつ、と腕を伸ばした。次ぎに、袴の紐の邊りを見せた。

「知らない」

しづ枝は首をひねつた。

「つまりさ、時計を持たぬ事よ。人を待たせる時には時計を持つて待つ時には持つべからず、これが戀愛の祕訣だよ」

「だつて、あたし、腕時計あるんですもの」

「ふはつはつはつ、俺に時計のないのを見破つたな」

「そ、さう云ふ譯ぢやないのよ、御免なさい」

しづ枝に、何でも素直に詫た。

「だが、遲いね、何處かで一杯やつてくるんだぜ」

「さうだそうか」

「君、宮田口で、あた[illegible]つて云つたら」

「二つだわ、云ひた[illegible]」

「これだ、これだとすると、遲い[illegible]」

[illegible]

「ふうむ だけどな、しづ枝君、相川君は、とても[illegible]つてるんだぜ」

[illegible]

ある。上が坊ちやん、次が嬢ちやん、その次が坊ちやん、その次が嬢ちやん」

「うまく交代になつてるのね」

「そりや、研究の結果だ、其處へ行くと、僕なんざ、出る子も出る子も」

「男の子？」

「うんにや女さ、あはは、でね、僕がね、三番目が生れた時に、ある友人に云つたんだ、又女だよ、弱つちやつた、とね」

「さう、それで——」

「するとね、相手の友人がね、そりや芽出たい、それはいいと云ふんだ、何故いいんだいと訊ねたら、ね、女の子ばかりで、立派な紊子を產つたら、そりや堪まらんよ、と云つた」

「ほほほ、成程、本當ね」

「本當と思ふか」

「思ふわ」

「僕も、さう思つた、處が、よく〳〵考へてみるとだね、その友人が、そも〳〵嬰孩子だつたのさ」

「あら、我田引水」

「さう、しかし、こりやいい引水だよ」

「また！」

しづ枝は睨むと[illegible]

「相川さんは、遲[illegible]も云ひたいのと」

「ありがたう[illegible]」

「まあ、遲いこと[illegible]」

酒さへ、冷たく[illegible]其處へ、鬼頭久[illegible]相川久慈が入つて來た

「あつ、相川さん」

飛びついて行く[illegible]押して置いて、

「先生、[illegible]」

---

横山エンタツ君
大辻司郎君
EARTH

東西人氣男の漫問答

漫談王…大辻司郎
漫才王…横山エンタツ

水銀柱がグン〳〵昇る本格的の酷暑。疫病が流行するなんて縁起でもない風說をふつ飛ばせと許りに登場した東西の人氣男！片や漫談の大家大辻司郎君片や漫才の總帥横山エンタツ君が笑ひの爆彈を抱へて、漫問答の一席。

大辻 エンタツ君。君が最近映畫に出るから、長さんや好太郎が氣を病んでゐるさうだよ。
横山 御親切に有難う。丈夫で[illegible]いてゐるから、宜敷く言つてくれ給へ。
大辻 フザケルなよ。誰が君の健康を心配してゐるものかね。君の人氣を恐れてるつてんだよ。
横山 ああ左樣か。そら、すみまへんな。しかしあたしのエンタツ樣なんて桃色レターが來ないから、まつ安心して上ろしい。
大辻 P・C・Lで撮つた「これは失敬」は面白いかい。
横山 ところがね、朝から晩まで蚊中を塗りつぶして、實に面黑かつたよ。
大辻 撮影所で思ひ出すが日活の京都太秦は蚊の名所だつてね。
横山 いや全く。カカ（呵々）と一笑に附せまへんな。あの邊はね、町名から多蚊町と言ふて昔より蚊の畜地で有名ですよ。
大辻 蚊のズボンに街の紳士とシヤレた藪蚊は實にギヤングの一味に相違ないね。
横山 ボクはまだ八丑を見て實はんが、どうも蚊と相性が合はんらしい、ホンマに。
大辻 蚊の中でも惡質になると、マラリアや嗜眠性腦炎の種を蒔き土産にする不埒極まる奴があるから、大いに油斷ならんデス。
横山 夏は蚊許りでなく、蠅ケラの小ギヤングが跳梁するから不愉快千萬ですな。
大辻 まして蠅といふ奴は實にケシからんね。惡い傳染病を媒介する親玉なんだからネ。
横山 しかしボクはね、蠅の所作事は小憎らしいほどうまいと思ひますね、蠅の名人でもあの妙技は眞似出來まへんな。
大辻 君のやうにノンキな觀察をやつてゐちや、蠅に舐められるぜ。あのむしやくしやした手に病的な黴菌を無數にのせて、人間さまの食べ物にたかるんだから、恐るべき存在さ。
横山 だからね、ボクは機關銃を一式備へておますのや。
大辻 どうも君一流の形容では判らないが、何處かのおもちや屋で買つたのかい。
横山 これはね、軍の機密に屬するから內證ですがね、實はお藥屋で買ふたんです。
大辻 バカに勿體ぶるが、インチキで擔ぐ氣かね。
横山 どう致しまして、正體を打明けると强力殺蟲劑で評判のアースのことですよ。
大辻 アースなら君が機關銃といふのも無理はないね。アースにはボクも危難を救はれた大恩があるよ。
横山 蚊蠅がなかつたら死んだでせう。
大辻 洒落どころぢやないデス。ボクが神戶の宿で南京蟲の總攻擊に合つたんだよ。[illegible]やうな晩に宿の女將が飛んで來てさ、アースで撲滅だ。南京蟲が見事に往生しちやつて、痛快だつたね。
横山 御婦人の股ばかりねらふ家ダニといふエロ蟲もアースには一たまりもなく參りますネ。
大辻 アースのヤキメは百發百中だから[illegible]は往生絕命さ。
横山 ボクはね、二度の飯よりも子供が好きでしてね。
大辻 子供とアースに何か因緣があるのかね、持ち出す氣かね。
横山 國是ですね。アースを噴霧しておくと子供がトテモ安眠しますよつて夜通し極樂ですよ。
大辻 君だつて蚊のやうに我が蠅のやうな眼玉をしてゐるからアースには頭が上らないだらうネ。
横山 そんなエゲツナイことを言はんとおいて貰ひませう。それアースですから心配御無用です。
大辻 いや、それで安心した。ボクもこの夏はアースでお盆に[illegible]行して、蠅ケラ共を全滅させてやるデス。（終）

× ×

▼强力殺蟲劑「アース」はアースタムの製造元播州赤穗 株式會社木村製藥所の優秀國產品で夏の家庭を惱ます蚊、蠅、ノミ、南京蟲、家ダニ、油蟲、蛾、イガなど凡て室內の害蟲はアースの噴霧で忽ち死滅する。
▼アースの定價は（サイダ瓶型）四十五錢、（ビール瓶型）七十五錢、（特型）四十錢、七十五錢、[illegible]一圓七十五錢、六圓五十錢、（噴霧器）三十五錢。
▼アースは各地の有名藥店、百貨店にて販賣してゐる。

# 民風作興を目指し大協議會開かる

## 中川總督臨場の下に 熱烈な意見吐露

非常時局に鑑みて本島に於ける國民精神の一層の振作と同化の徹底をはかり所謂民風作興への關心を强化徹底すべき民風作興協議會は二十五日午前九時より督府正廳にて開催された、定刻中川總督、平塚長官臨場、出席者は深道、栗山新道（以上高雄州）、村大（澎湖廳）の三氏缺席の外、府各部局長、各州知事、廳長、松岡臺北市尹、幣原帝大總長、齋藤高等法院長、伊藤檢察官長、荻洲參謀長、岩松守備隊司令官、佐藤大佐、相京少佐、大木憲兵隊長、酒井海軍武官、其他直轄官衙學校長、民間有力者、府內關係各課長等百二十餘名出席開會と共に一同國歌齊唱、中川總督國民精神作興詔書を奉讀の後別項訓示の如き挨拶を述べ、深川文敎局長は附議事項に就て時局は國民精神の强化と徹底を期すべき秋であるがこれに關して從來總督府は强化强調に努めて來たものの未だ充分ではないこの運動は官民一致歩調を一にして始めて效果あり且つ常住座臥の間に國民生活をなすに至らざれば徹底したとは云へないと思ふと述べ地方敎化の實況を紹介しかく地方的に行はれてゐるが、都市の上層指導階級に於ては未だこの運動は充分行はれてゐない、上層指導階級及びただに本島人のみならず先輩內地人に於ても一層の認識を以てかかられねばならない、議題に就て充分忌憚ない御意見の發表を願ひたいとの旨の說明をなし議事に入る、一番ケ瀨農務課長は進步的な地方農事實行組合の實狀を紹介、次で藍高川氏意見開陳のトップを切り順次に朱阿貴、黃純青、黃欣、黃嬰典、郭沙棠、田中惠海、安田勝次郎、大澤貞吉、松岡富雄、宮本一學、二瓶敬五、宮川新九郎、許丙、中辻喜次郎、高林等の諸氏各各熱意あり多岐に亙る自由な意見を吐いたが最後に平塚長官立つて問題は廣汎多岐に亙る意見を含むから委員會を組織討議したい旨を議場に諮り滿場一致賛成、三卷俊夫、大澤貞吉、郭廷俊、小松吉久、堀內次雄、簡朗山、松岡富雄、朱阿貴、宮本一學、黃純典、郭沙棠、宮川新九郎の十二名の委員が指名せられ正午一旦休憩、午後一時より再開した

午前中の主なる意見は大體左の如し

△國語の普及敎民に對する一層の促進

△敬神崇祖思想の獎勵と共に本島人中特に無敎育者の寺廟、先祖に對する誤れる觀念の是正改革

△本島人に對する兵役の義務附與

△學校敎科書、敎材に正しき國民歷史の加味注入

△本島人の個人主義、自己主義思想の根本的是正

△地方敎化指導員の質向上

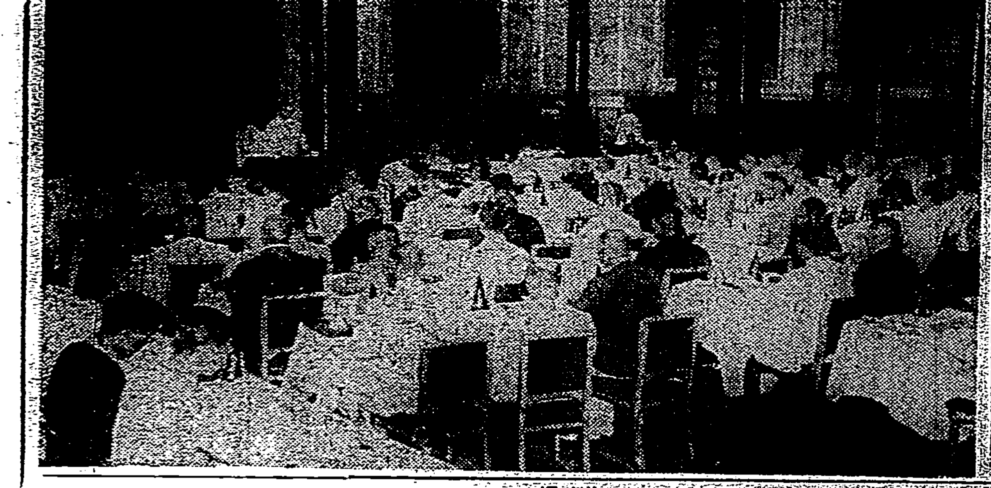
△皇民敎育に日本精神を奉體せしめ、非國民的思想根絕に神社を建立、本島農村內に內地人を進出せしめ同化を徹底

△部落振興會の全島全村に亙る設置

△本島寺廟に對し神社に倣ひ月二回の祭式施行、公衆公開場所に於ける本島賭博禁止、蓄妾の陋習に嚴重取締

△國防思想の喚起と內臺共婚の獎勵

（寫眞は協議會場）



## 中川總督挨拶

炎暑の折柄茲に各位の御會同を煩はし本島に於ける民風作興運動に關し御意見を承り得ますことは私の甚だ欣幸とするところであります

惟ふに新らしく申上ぐる迄もなく現下我が國の情勢は內外共に多事多端益々國民精神を作興し擧國一致時艱の克服に邁進しなければならぬ秋であります、特に帝國南方の重鎭として國防上、經濟上重大使命を有する本島としては其の責務の一段と重大なることを想ふ次第であります

然るに顧て現狀如何と顧みまするに近時島民の時局に對する認識と國民的自覺とは大に其の度を深めて參りましたけれども、仔細に之を檢討致しまするときは尙遺憾の點が尠くないのであります、改隸後既に四十年而かも尙國語を解せざる者島民の七割を占むるが如き狀態にて果して克く國民精神の透徹を期し得るであらうか、內臺人融和の狀況は果して國民一元化に充分なりや否や、陋習打破の現況果して如何、思うて是に至りますれば國民精神昂揚の念を叫ばるる今日內臺人を通じ指導階級に屬する先覺の士は本島民打て一團たる國民活動の顯現を期するが爲負荷されたる何等かの責務を有するのではなからうか、換言すれば本島民の國民精神を發揚し、全島擧げて本來の日本帝國と些の相違なきものたらしむるが爲、全面的の社會運動は正に先覺の士に課せられたる責務の感がするのであります

近時街庄若くは部落を活動の單位とし其の區域の住民を打つて一丸とする部落振興會、農事實行組合等の團體が各地に組織せられて各種の敎化活動を爲し、又產業、交通、衞生等島民生活と密接なる關係を有する事項の全面に渉つて改善を加へ、以て國民資質の向上に努めつつありまするが斯の如き運動が漸く全島に普及せんとする機運にありまする事は洵に欣幸とするところであります

今回本協議會を開催致しましたるは右の如き敎化運動を助成すると共に、更により適切なる方策の御協議を願ひ以て國民精神發揚運動の效果を十全ならしめ、時局の必要に適應せしむるは勿論本島固有の大精神を完成するに資せんとするが爲めであります

各位はこの趣旨を諒せられ、忌憚なき御意見の發表に依り本島現下の實狀に即したる民風作興の方策を確立し、以て國民精神の振作に寄與せられんことを希望する次第であります

---

# 天皇、皇后兩陛下 葉山へ行幸啓

## けふ東京驛御發

【東京廿五日發】天皇皇后兩陛下には既報の如く愈葉山へ行幸啓あらせらるる事となり二十五日午前十時二十分宮城御出門、同四十分御召列車にて東京驛御發、天皇陛下には御機嫌麗しく午前十一時四十分逗子驛御着車、皇太子殿下を始め奉り三內親王の御待受けの葉山御用邸に成らせられた

---

# 東株の立會中止の刹那

（上）中止の掲示（下）中止直後の取引市場　東京朝日電送—臺北間空輸

---

# 小原國債課長遂に警視廳に召喚

## 取引所事件の參考人と

【東京二十五日發】取引所疑獄事件に關し同問題の改革案の材料を提供した大藏省理財局國債課長小原政樹氏は二十五日午前九時右事件の參考人として澁谷區代々木の自宅から警視廳に召喚され澁谷係長、谷口警部の[illegible]

---

# 革命軍と義勇軍が猛烈な爭奪戰

## サン・セバスチー

[illegible]

---

# わが無敵水上軍

## エントリー決定

### 贅澤な銓衡の結果

【ベルリン二十四日發同盟】我が水上軍は到着以來新記錄續出、再新記錄の望みは益々濃厚となつたが各選手共素晴しく好調で優劣なく「水上」エントリー締切日たる二十四日は末弘總監督以下銓衡委員も贅澤な銓衡に苦しみ熟慮の結果左の如く我がエントリーを提出した

**男子**

△百米自由型　遊佐正憲、新井茂雄、田口正治

△四百米自由型　鵜藤俊平、根上博、牧野正藏

△千五百米自由型　寺田登、石原田愿、鵜藤俊平

△百米背泳　清川正二、吉田喜一、兒島泰彥

△二百米平泳　小池禮三、葉室鐵夫、伊藤三郎

△八百米リレー　遊佐正憲、新井茂雄、杉浦重雄、田口正治、新間六朔、鵜岡榮

△飛板飛込　柴原恒雄、小柳富男

△高飛込　柴原恒雄、小柳富男

**女子**

△百米自由型　吉田つね子、小島一枝、竹村令子

△四百米自由型　守岡初子、小島一枝

△二百米平泳　前畑秀子、壺井宇乃子

△四百米リレー　小島一枝、竹村令子、吉田つね子、守岡初子、松村和子

△飛板飛込　大澤政代、香野扶佐子

△高飛込　大澤政代、大澤禮子、香野扶佐子

---

# 一高優勝す

## 全國高校野球戰

【京都二十五日發本社特電】全國高等學校野球決勝戰は京都市西京極球場に擧行

一高九—三福岡

にて一高が優勝した

---

# 我水球軍勝つ

【ベルリン二十三日發同盟】わが水球チームは二十三日シュパンダウチームとの三回戰を擧行し樂なゲームに相當自信を得た、日本軍は前半三點を得後半四點を加へ敵に一點を許したのみで七對一で快勝した

日本　三—〇　四—一　シュパンダウ

---

# 艦隊入港を前に

## 南署が活動

艦隊入港を前に國家の大事な軍人さんに過ちがない樣にと南署では市內の警戒を嚴にすると共に殊に衞生、風俗方面に支障なきやう二十七日朝其の方面の營業者を同署に集めて注意を與へ萬全を期すべく努めてゐる

---

# 籠拔詐欺に

## 南署の玄關借用

### 出前持ちくづれ捕まる

所もあらうに警察署の玄關を使つて籠拔け詐欺のいけ圖々しさ—最近南署の玄關で市內のそば屋食堂等の出前持が詐欺にかかつて居る由を聞き込んだ同署吉澤、菊地、吳四刑事が二十五日夕玄關に張つて居るとも知らず一人の男が玄關口で外を見たり內を覗いたり樣子が怪しいので捕へて調べて見ると新竹郡新竹街山國[illegible]許炳淇（二五）といつて市內の某食堂の出前持[illegible]南署刑事室に電話をかけ今何處何處で盜難があつたとか傷害事件があつたとか云つて刑事連中を外へ出して置いてその留守中に仕事をして居たものである

---

# 騙取犯を逮捕

【新竹電話】新竹市北門町[illegible]

---

# 大學教授

[illegible]せられたものである、自治を誇り學園の神聖を强調する大學敎授に對しその學說を穀する如き事は未曾有の事であり今回の事を斷機に第二、第三の强壓的命令が發せられ大學自治は破滅して强大なる文部省の監督權が大學學園の上にも下されるのではないかと全國大學の神經を痛く刺戟してゐる模樣である

---

# 大道で斬る

二十四日午後九時頃臺北市下奎府町四ノ六一路上に於て太平町一ノ六八貿易商李海（三）は折柄通りかかつた下奎府町四ノ六一盤先清（二）と一言二言云ひ交すや矢庭に短刀で眞向ふから斬りつけ前額部外數ヶ所に重傷を負はせたが原因は其の前日加害者が妾と一緒になつて隣家の女と喧嘩した際仲裁に入つた被害者から毆打された事を恨みにおもつての兇行である、加害者は現場で北署防犯の手により逮捕された

---

# 森直吉氏死去

高雄運送會社高雄支店長森直吉氏は二十五日午前七時狹心症にて死去享年六十三

---

# 釣

△基隆　八尺門の赤燈臺附近よく、潮の流れに乘れば小鯛が釣れる、餌は烏賊、夜は港內から港外にかけてカマス、丸鰺有望

△淡水　少し濁りをるよ滿潮を利すれば燈臺下、棧橋、驛前附近でチヌ、グチ、平鰺が釣れやう

△山子脚　水濁り鮎釣には不向き驚歎の橋下から三峽への埤圳路は鯰釣にもつて來い

△宜蘭庄　驛前附近へ放水する川も本流も水量少く鮎釣は不向き投網は有望

△竹圍　桃園から海岸へバスで三十分海水浴場附近へ打出す河流のあたりチヌ、スズキの大物、少し上れば鯰好漁場

△濱底、大溪　最近あまり芳しくない

△頭圍　波高くキス釣り見込少く川口ではチヌが釣れる

---

# メガホン塔

▲圓山球場にバッター標示燈なきは心許ない（ファンの聲）▲北工業生の北一中聲援に熱狂す（一中ファン）▲電力會社よ天候の加減で點燈や消燈を考慮せよ（普通燈生）▲糞尿汲取りを充分にせよ注意しておないと二、三杯で臨つて行く（[illegible]）▲[illegible]

---

# 會事

日曜講演　臺北佛敎靑年會では二十六日午後七時半から西本願寺樹心會館にて横超慧[illegible]が「進むもの、退くもの」と題する講演をなす由

---

# あすの天氣

[illegible]

[illegible]五二粍の颱風は南洋パラオの北西四七〇粁の海上にあり北西に進み次第に發達する見込み、本島は北部と南部が雨、他は曇、近海は南の疾風等、浪は稍高くあります

## 潮汐（二十六日）

基隆　滿潮　干潮　[illegible]

淡水　滿潮　干潮　[illegible]

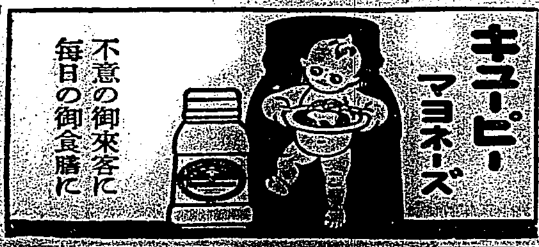
## 各地溫度（七月廿五日午前十一時）

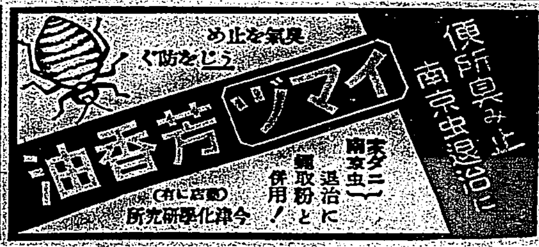
| | | | |
|---|---|---|---|
| 恒春 | 二九・四 | 臺中 | 三二・二 |
| 臺東 | 二六・八 | 臺北 | 三〇・一 |
| 高雄 | 二九・六 | 基隆 | 三〇・四 |
| 臺南 | 二九・八 | 那覇 | 二八・九 |
| 澎湖 | 二八・七 | 鹿兒島 | 二九・八 |
| 阿里山 | 一六・五 | 長崎 | 二八・三 |
| 花蓮港 | 二八・八 | 石垣島 | 二七・三 |

夏の酒
涼しい酔ごこち
風がそよく
ふくむすめ
家本本花・だな

KATOL
キカトール

牛乳石鹸
御中元に最適
なつ！
ピーチに躍る「牛乳」の肯香臍
YUNYU
No.366


キユーピーマヨネーズ
不意の御來客に
毎日の御食膳に


臭氣を止め
うじを防ぐ
芳香油 マイヅ
便所臭み止
南京虫退治に
家ダニ
南京虫
退治に
驅取粉と併用！
今津化學研究所

ダンス新盤特選集
申込みは即刻！
第2回頒布レコード決定！
コロムビア
洋樂鑑賞協會
ラッキーレコード

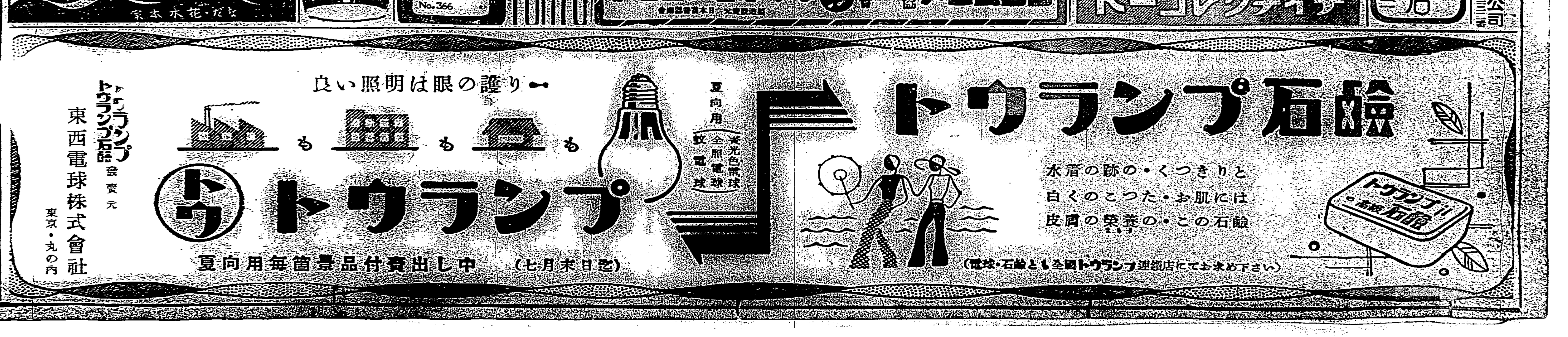
第1回頒布レコード（フォックストロット）お望みのキッス　うつろなる　リズムに乘つて　ナガサキ　第2回頒布レコード（フォックストロット）ビューゲル・コール・ラグ　クリストファア・コロムブス　何時でも　第3回頒布レコードとしてタンゴ、ルムバの傑作

テイチクレコード
慈悲心鳥
楠木繁夫
東京ラプソディ
藤山一郎

日活映畫主題歌　古賀政男作曲　古賀政男作曲流行歌

專門花柳病科　周磐石　台北市太平町二丁目（大稻埕入口）電話三五三一

秋マキ種子　カタログ進呈　臺北市大正町三ノ十八　臺灣種苗公司　電話二二二一番


良い照明は眼の護り
工場も事務所も家庭も
トウランプ
夏向用 螢光色電球 全照電球 蚊電球
トウランプ石鹸
水着の跡の・くつきりと
白くのこつた・お肌には
皮膚の榮養の・この石鹸

夏向用每箇景品付賣出し中（七月末日迄）

（電球・石鹸とも全國トウランプ聯盟店にてお求め下さい）

トウランプ トウランプ石鹸 發賣元 東西電球株式會社 東京・丸の内

# 紙衣祖師（166）

吉川英治作
山村耕花畫

## 東國篇

### 孔雀明王（三）

「――見たといふ者も、その親鸞の姿が何處にも見えぬのは何としたものだ」

「いや、確に」

「では何處に？――」

「あの山、岩の辺りから――さう云へば雨引のはうへ降りたのかも知れぬ」

弁圓と甲賀坊の押問答を聞きながら、その親鸞の影をきよろきよろ眼で捜してゐる他の者達は、

「不審な！」

と、囁きあつて、

「幻ではない？」

道路の辻に立ち迷つてゐるやうな氣がして、何か自身の錯覺に、背すじを寒いものに襲はれた。

――すると、その錯覺と靜寂の不氣味な空氣をやぶつて、何處かで、馬の嘶きが高く聞えた。

明らかに、それは馬の嘶きであつた。又、小石を彈くやうな蹄の音と共に、

「叱いッ！……叱い！」

――と呶鳴る馬方の濁み聲が、遙谷の下の加茂部へ行く道邊でひびいた。

そこは又、石岡へ出る道筋でもある。當然、そこへも萬一を慮かつて、逆茂木を仕掛けておいた筈であるのに――

「しまつた！」

と、岡の上から谷街道のはうを見下ろして、一人があはてて叫んだ。

「ばかな奴！　あれは石岡へ炭を積んで出る荷馱馬だ。落し穽へ落ちた馬を、大汗掻いて引き出してをるわ。こちで仕懸けた逆茂木も滅茶々々にしてしまひ居つた」

「忌々しい馬子め！」

「血祭りを與へろ」

ビュッ――と誰かの手から弦唸りを切つて毒矢が飛んだ。けたたましい馬の悲鳴が、ふたたび谷間に谺じをして、腿に矢を突き立てた馬は溪流の中へ飛びこんで、姿水を眞赤にした。

馬子は吃驚した様子で、盲走りに向側の絶壁へかぢりついた。見てゐると、そこにも細道があるらしく、馬子の姿は、忽ち見えなくなつた。

弁圓は、齒がみをして、

「察するところ、親鸞と生信房のふたりは、何處か、俺たちの氣づかぬ間道へ廻つたと見えるぞ。それつ、手頒けをして、谷の下、嶺の上、八方の細道をさがして引つ捕へろ」

獵人のやうに、山伏たちは、熊笹や木の中へ飛びこんだ。嶺はいつか山の暈にかくれて、冷たい山氣が白々と降りてくる。衣の袖は露つぽく濡れ、離れ離れになつた人數は、各々道に迷つて、おおウいと仲間を呼んでも、谺のほかの答へはしなかつた。

「弁圓殿つ。……播磨公殿つ」

聲では返辭がないので、さら嶺に呼んでゐた一人の山伏は、岩の上から法螺貝をふいた。――大きく二度、三度、四度と。

（何事やある？）

（さては、親鸞を）

と、山伏は方々から再び嶺に一ケ所に寄集まつた。その中には、眉間に青白い焦躁を刻んでゐる弁圓の顔もあつた。

「なんだ？　相模坊」

「變事です」

「どうしたと？」

「ただ今、麓からの報らせです。親鸞と生信房のふたりは、もう疾くに、稻田の庵室へ立ち歸つて、弟子共や妻子と和やかに笑ひさざめいてゐるとの事。……いつたい此處や谷道の幾重もの網は、何に備へてゐたのでござるか」

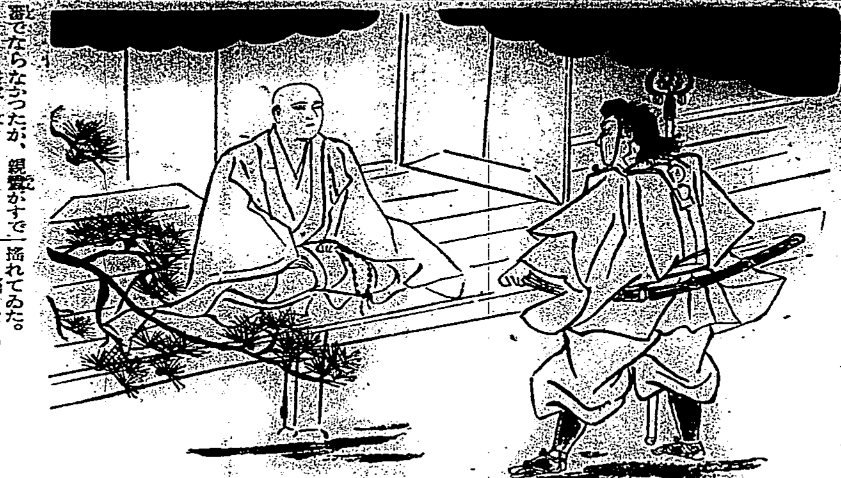
「げッ、親鸞は、もう稻田へ歸つてゐると？……それは眞か」

弁圓は、信じられないやうな顔して云つた。

疑つても疑ひようのない事實が、麓から弁圓の前へ、次々に注進された。

何うして、水も漏らさぬこの備へを潜り抜けたか？　この板敷山の嶮を無難に通つて行つたか？

弁圓を初め、山伏たちには、不審でならなかつたが、親鸞がすでに稻田の草庵に歸り着いてゐるといふ事實はもう動かせない。



「やはり、彼の僧には、ふしぎな靈覺があるのではないか」

「此つ方で、法力を以てすれば、親鸞も法力を以て甦り、こつちで呪殺の罠を張れば、彼も破邪の呪を行つて、吾々の眼を晦ましたに違ひない」

山伏たちは、今日の失敗を招いた事から、かへつて親鸞に對する恐怖と畏敬を深めてしまつた。やはり彼は非凡人であつたと心から考へ出して、さういふ有德の僧に毒矢をつがへた身の罰が恐ろしくなつてしまつた。平常は冷笑してか天魔とかいふ事も、眞劍に思ひ出されて、初めの元氣を喪失してしまつたばかりでなく、寒々と嶺の苔むらを渡る夕風の中に、ぶるぶると、心の底から寒氣に似た戰慄を抱いた。

「――出し抜かれた」

罵りから呟いて、谺が響いた。

憤怒に、眉を昂げてゐるのは弁圓であつた。

「かく迄、吾々を愚弄して、何をおめおめと十六房の主權、播磨公弁圓といはれて人に面をあはされよう。――さうして、この上には、若三の宿舍小屋を踏み破つて、親鸞の首を斬つてくれる。――見てをれつ」

ガラリと、手の弓を投げ捨て、一散に麓へ向つて駈けて行つた。

すでに、怯氣に襲はれた他の山伏たちは、呆つ氣にとられて、最初の氣勢を失つてしまつた。魔王弁圓のすさまじい後姿を、ただ見送つてゐた。

板敷山から三十餘町を、弁圓は、一氣に駈けてしまつた。火焔のやうな息を喘いで、彼方に見えた灯影へ向つて近づいて行つた。

「――ここだな！」

稻田の庵室と見るや否、弁圓は、柴の折戸を土足で蹴つて、案内もなく、つかつかと庭の闇へ駈け込んだ。

そして、仁王立ちとなつて、

「親鸞は居るかつ」

と、呶鳴つた。

こよひは村の者も寄つてゐなかつた。いやもう夜も深いので、それ等の者も歸り、親鸞の妻子も室に眠り、弟子房の弟子たちも夢の中に入つてゐるのかも知れない。

寂として――庵室のうちは閑かなのである――ただ短檠の一穗の灯か、そこの蔀簾のうちで夜風に搖れてゐた。

滿顔を汗に濡らし、髪は百雷の堅つるやうに、弁圓は、全身を怒氣に滿ちた瘤にして再び呶鳴つた。

「親鸞は居らぬかつ、愚禿は何處に居るかつ。すでに此處に立ち歸つて居らうが！　常陸一國の修驗の司、播磨公弁圓が、破戒無慚の殺佛敵僧に、金剛杖の頭頂をさづけに參つた。われこそは正しき佛陀の使者、破邪顯正の者、孔雀明王がお首をうけて參つた者。――出て來ずば、踏みこんで、愚禿の素首を打ち落すがよいか。――畜生！　親鸞つ、出て來ませいつ」――腰に横たへてゐる三尺の戒刀に反を打たせ、大喰の吼えるやうに、ひつそりした庵室の中の一つ灯へ向つて云つた。

「應――」

と、垂れこめた蔀簾を徹して、その時、明らかな親鸞の答へがひびいた。

次に――

「誰ぢや」

それも親鸞の聲であつた。

靜かに、庵の内の灯のあたりからその人か、起つて來る氣配がした。弁圓は、

（うぬつ、ここへ出てうせたが最期――）

八ツ緒のわらぢをじりじりと縁近くへ踏みすすめ、手をかけてゐる戒刀の柄は、もう血ぶるひをするかのやうにガタガタと鍔が鳴る――

――サラと簾を片手で上へかかげて、親鸞はそこから半身を見せた、そして、朱泥で描いた魔神のやうな弁圓の顔をじろと眺めその顔に、ニコリと長い笑み皺を刻むと、

「オオ」

と、何のためらひもなく――なつかしい人にでも接しるやうに云つて――つかつかと竹縁の端まで踏み出して來たのであつた。

「――誰かと思うたら？」

手をさし伸ばさないばかりな親鸞の樣子なのである。弁圓は、春風のやうな彼の姿と――その手の先から、思はず一歩退いて、

（そんな詐瞞に！）

と、呼吸のうちで叱咤し、

（そんな甘手にかかるおれではない）

と、滿身の殺氣を瞳にあつめて炬のやうに睨まへたが、何とはなく、膝の筋を抜かれたやうに、眸にもここへ來る迄の憎惡や兇悪な勢を斷ちきれなくなつた。

「……」

「……」

親鸞も、それなりものを云はない。弁圓も默つてしまつた。――ただ呼吸をしてゐるのみで、互と、縁の上と下で、對し合つてゐるのだつた。――火と水とのやうに。

燃えるだけのものを、弁圓は今五體から四肢全體に燃やしきつてゐた。毛の一すじまで、針の如くさせて汗を噴き、内面の毒炎を、瘴氣のやうに立ててゐた。

「ウウーム」

爪を怒らせて迫つた猛虎が、はたと、何かにためらつて、その飛躍を遮られてゐるやうに、弁圓はいたづらに自分の威嚇に持ち疲れて來た。

この一瞬、弁圓の眼に映つてゐる親鸞は、まつたく、常々彼が思ひ憎んでゐた親鸞でなかつたのである。かれの憎惡は、途端に鉾を鈍らせてしまつたのである。

板敷山の呪壇に、一七日のあひだ、胡麻を焚き、呪念をこらして眼に描き出してゐた怨敵親鸞は、さながら自分を呪ふ悪鬼とばかり見えてゐたが――今、眼のまへにある親鸞を仰げば、三十二相圓滿な如來菩薩の笑顔そのままではないか。

弁圓は、踏みしめてゐる踵の要からだんだんに力の抜けてゆく自分を何うしようもなかつた。

彼も佛者である。聖護院の御内に僧籍のある佛子である。菩薩の顔と、邪人の顔と、見わけのつかない人間ではない。――何で親鸞は前からこんなよい顔を備へてゐたらうか。このほほ笑みが一體人間のものだらうか。彼の殺意は、だんだんに冷えて行つた。

「……ああ……」

思はず呻いたものである。――京都の巷で見た頃の親鸞の顔には、もつと嶮しいものがあつた。勝氣があつた。世に負けまいとする鋭い眼があつた。物云へば烈々と人を壓しる唇があり、起てば、群小を睥睨する威風があつた。

けれど今のすがたには、そんな烈しい強いものは微塵もない。これは、弁圓にして初めて思ひ出される記憶であつた。――今の親鸞の和やかな顔には、十八公麿と呼ばれてゐた頃の幼な顔にそつくりである。四十を越えてからの親鸞は、いつの間にか幼少の顔のはうへ近くなつてゐたものと見える。

---

## 臺日歌壇

安成二郎選

臺北　秋空

叱られて心泣きつつ今日も又一人淋しく勤めに出でゆく

臺北　大原霞宏

新店にて

崖下の深き淀みに風呂屋根の舟をとどめて釣垂れる島人

夕闇はひそと迫りて深潭に魚とぶ音の高くきこゆる

臺北　河合奈保子

七星の山裾暮れて村々になつかしき燈の灯り初めたり

一年を山を見ざりきここにして七星山に向ひて坐る

暮れなづむ七星山に向ひゐて心しづけく思ふことなし

臺北　高梨春之助

思ひ出でて又見上げたる大空よ我の心のとけいることし

---

# 名家敗退將棋（其九）

溝呂木氏一回勝二回目

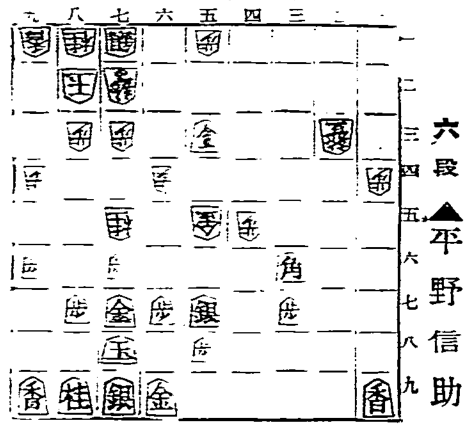
香落番

七段　△溝呂木光治

六段　▲平野信助

（圖は二三飛成迄の局面）

溝呂木氏持駒　銀歩歩



▲平野氏持駒　飛金歩歩歩

[illegible]

▲平野六段曰く　五三金は惜しい氣もしたが尚駒德が殘つてゐるので位の釣合ひは悪くないし其間飛を打込めば成桂も攻めに利きます

▲平野六段曰く　一二飛は五一歩では敵に響かないので幾分か駒損となつても馬を得れば又德が出來ませう

△溝呂木七段曰く　五一歩は絶對で馬を失うても手駒を多く持てば攻めの味の出來るは言ふまでもない、私は凌ぎつつ強い攻めを狙つてゐる

▲平野六段曰く　[illegible]と桂を取る手もあつたが[illegible]と利かされるが嫌で金を得れば攻めに使へます

◇大崎八段講評　[illegible]歩と利かして同二龍、更に五三金と打たしたのは悪手ではあるまいが讀者には味ふべき運びである、平野君の二一飛は五一飛と打つて後に五五桂を狙つても駒德だつた[illegible]

---

K・95
今が
Kinomeal
キノミール

母乳のやうな
キノミール
和光堂

最強力殺虫劑
インピレス
一噴き全滅
菊牡丹かとり線香
すばらしいキキメ
臺北・臺中・臺南
株式會社辰馬商會
神戸 製造元

臺日案内

料金 [illegible]

書籍
新刊 常用語辭典（定價）臺北市榮町四丁目 新高堂書店

醫院
Ｘ光線新設 内科・小兒科 小林醫院（入院設備）臺北大和町 電話四貳

内地土産
名物 芭蕉煎餅 下江商店 錦町一ノ二六 電話九貳六番
臺灣特産 珍品 サンゴ 文石 寶石 三共舍 臺北市榮町四丁目 電七貳六

寫眞
8ミリ 小型映畫時代來る コダック續々入荷 臺北市榮町 西尾商會
新カメラ 續々入荷 特賣 臺北市榮町貳丁目 寫眞部
一般カメラ 續々入荷 高級 京町二丁目

時計眼鏡
和田はメガネ專門 臺北本局前 電四○五○番
メガネ專門 日光堂 臺北市表町二ノ一○ 電二九五七番
學生優待 メガネ專門 金光堂 兒玉町 電話九五八番

料理屋
壽司天ぷら 魚文 電一五一八
生そば 壽司 辨金京町店 電四四六九番

生そば丼物・丸金 新世界館前 電話四五○番

賣金屋
金銀細工は美工堂 電話四三五番

菓子商
臺北名物 小菊饅頭 本店

治療所
慢性病電氣治療 新起町市場裏通り 昭和電療院
盲腸の炎 盲腸にてお苦みの方は是非御試驗 有馬家傳灸

雜件
組立式の洋服ダンス 臺北市榮町 日本樂器木工部
特許 商標 辨理士 岸喜鑑事務所 龍口町 電貳八七
信用 文化 コークス販賣 竹林商店 電二○八四番
電話 商品券 賣買 旭屋支店
運命・姓名 絶對
平戸の搭味噌 風味の良い
大の冷西瓜 冷ビール 西門市場裏 電四三九
一等 玄米精乳と牛乳
商品券 電話 賣買
商品券 債券 電話
蛇油 蛇皮 養虫
軍犬 任犬・親犬・番犬・訓練犬・警犬用具あり 大商會

ビクター電氣蓄音器

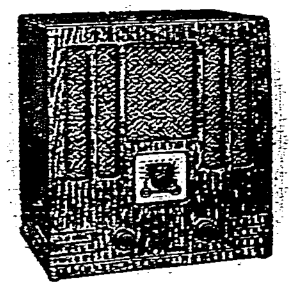
ビクター　ラヂオ

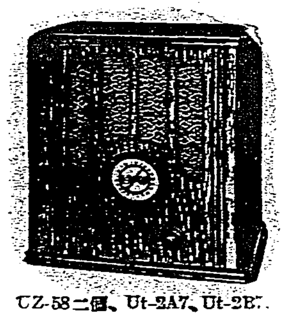
"HIS MASTER'S VOICE"

世界に冠たる眞價！

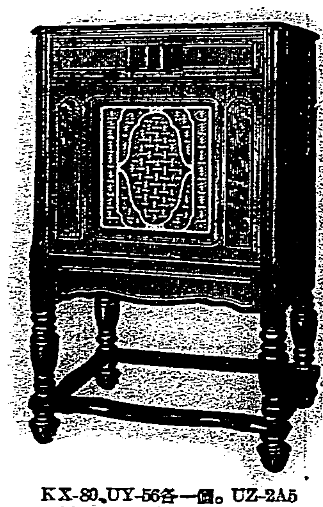
覇者の貫祿を示す
優れた性能・品質
外觀……

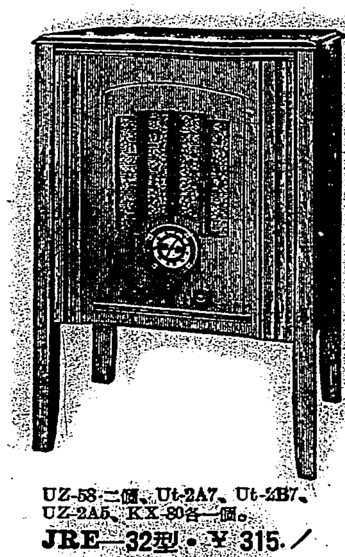
使用材料の精選優秀な工作技術、卓絶した演奏――ビクター製品の特徴をお認め下さるお目の高い皆樣に……又僅かな御投資によつて永久不變の御滿足を望まれる皆樣に……全世界の聲價を有するビクター電氣蓄音器とラヂオをおすゝめ致します。新婚の御夫婦に、御兩親のお誕生日に、御家族總員の娯樂に、これこそ絶好の贈物です。何れもそれぞれの用途に從つて特に設計されましたもので、お値段も豫算に應じて御自由にお選びになれます。どの器械も同價級の他器を斷然引離した優秀なものであります。御選定には有名な犬印をお求め下さい この商標こそ全世界の蓄音器及びラヂオ界の最優良品たることを確證致すものであります。全國各ビクター特約店では何時でも皆樣の御試聽をお待ち致してをります。

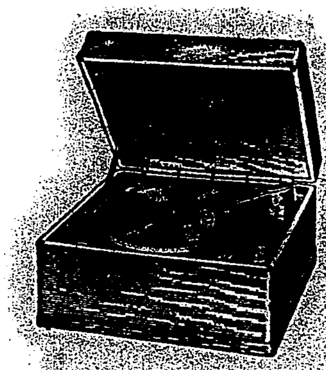

UZ-58、Ut-2A7、UZ-57、UZ-2A5、KX-80各一
スーパーヘトロダイン型
JR—1[illegible]

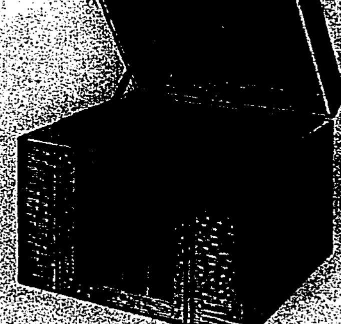

UZ-58二個、Ut-2A7、Ut-2B7、UZ-2A5、KX-80各一個。
スーパーヘトロダイン型
JR—121型
¥150
（意匠登錄七一二四四）

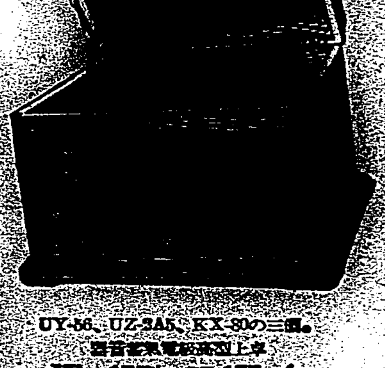
最高級十球スーパーヘトロダイン
ラヂオ兼用電氣蓄音器
RCA-56二個、RCA-58四個、RCA-80一個、RCA-2A5二個。
JRE—46型・¥600.／
（意匠登錄六四四○八）


高級スタンド型四球
電氣蓄音器
KX-80、UY-56各一個。UZ-2A5二個。
JE—26型・¥285.／
（意匠登錄六四四○九）


最新式六球スーパーヘトロダイン
ラヂオ兼用電氣蓄音器
UZ-58二個、Ut-2A7、Ut-2B7、UZ-2A5、KX-80各一個。
JRE—32型・¥315.／
（意匠登錄七一二四五）


本器は何れのラヂオに連續しても直に電氣蓄音器として使用される優秀なビツクアツプ・廻轉盤裝置を有するもので、簡便且つ重實な新製品
ビツクアツプ・廻轉盤裝置
JT—6型・¥70.／


日本ビクター十周年記念發賣
新式卓上型電氣蓄音器
JE—16型・¥125.／
UY-56、UZ-2A5、KX-80の三個。


UY-56、UZ-2A5、KX-80の三個。
卓上型高級電氣蓄音器
JE—15型・¥175.／
（意匠登錄七○九六九）

ビクターの電氣蓄音器・ラヂオは總て優秀なダイナミツクスピーカーを使用してあります。

# 國際通商關係複雜
## 商工省決議策善處
### 且將關稅制度調查研究

東京二十五日電。商工省與專以財政收入爲目的之大藏省。別自國內產業保護之立場。以謀關稅制度調整。去二十四日開省議。決定着手基礎調查。卽從之最近國際通商貿易情勢並國內產業現狀。或如從來。只用報復之通商擁護法。到底難以收效。此際合應謀改關稅制度。以處國際通商之複雜關係。並發國內產業之保護助長。此基礎調查。所爲主眼。在再檢討貿易商品。現行關稅率之當否。而加以修正。且研究其範圍程度。及消費併用可否云。

# 西班牙革命
## 駐使只一公電
### 電飭報告

東京二十五日電。西班牙革命勃發以來。經過一週間。矢野駐西公使。纔發一次公電。事態推移。全然不明。本邦僑人生命財產堪憂。有田外相。廿四日。電飭佐藤駐法大使。將西班牙事情。調查報告。並與矢野公使連絡。保護邦人。爲無遺漏云。

# 農村次男三男之人
## 農林省謀移民滿洲
### 一戶可得二十町土地

東京二十五日電。農林省近立集團移民計畫。使農村移往次男三男之人。滿洲建設我新村。決定自明年拓務省第五次移民參加。統觀全國五千六百六十八。經濟更生農村。經濟事情。各自不同。或爲人口過剩。種種災害。不易更生。故此謀使。積極的移民。唯各家長男。使之守護祖先傳來之鄉土。努力於村之經濟更生。次男三男。則可以村事家事。委之長兄自於滿洲沃野。求一新天地。而近設之。則本邦人口多。而耕作面積少。農村懸案。不難解決。然則離村人員。如或決定。未渡滿洲。先集於全國三十處農民道場。精神訓練。而後送諸滿洲三江省。及濱江省。以爲共同建設。將來一戶。可得二十町土地云。

# 議會召集期
## 詳九月上旬
### 衆院議會振肅

東京二十五日電。衆議院議會振肅委員會。二十四日午後。開於議長官舍。協議結果。決定會計年度變更之件。照曆年制。議會召集期。改爲九月初旬。近日正式進言。次議常置委員會設置之件。依然贊否兩論。意見不一。延之三十一日決定云。

# 小原國債課長
## 警視廳召喚
### 爲事件參考人

東京二十五日電。取引所攪亂事件所關。該問題改革案。材料提供者。爲大藏省理財局國債課長小原政樹氏。二十五日午前九時。自澁谷區代々木私宅見召於警視廳。爲事件參考人。聽渡邊係長。谷口警部訊問云。

# 陸軍新聞班
## 權限擴大
### 調查部自消滅

東京二十五日電。此回陸軍省官制改正。將軍事調查部（新聞班）。移於軍務局。是陸軍重視新聞班之機能。爲期今後積極的活動。謀此對內的統一。可塡往日。顧新聞班。設於大正八年。而調查班。則設於昭和三年。構成軍事調查委員會。昭和八年十一月。改爲軍事調查部。二二六事件後。調查部長以軍務局長兼務。更遍入軍務局。此回改正。官制雖未成。然其權限。則甚擴大。究調查部。自然至消於滅云。

# 革命軍逆襲
## 激戰政府軍
### 謀取首都關門

馬里德二十四日電。本埠西北四十五基羅。卽首都關門。革命軍有意謀取。進擊而來。爲政府軍所猛擊。一旦退却。二十四拂曉。再行逆襲。在該附近。與政府軍。猛烈砲鬪。砲聲殷々。勝敗未決。本埠綏派民衆。應援政府軍云。

# 硫安統制
## 迄無效果

硫安配給組合。欲統制硫安市價。將三圓三十二錢五厘以下浮動硫安。買收而維持市價。然市場仍是軟調。長此以往。則政府照肥料統制法之基標價格不知降至何程度。事有可疑。蓋當初豫定。商工。農林兩省。皆欲以三圓三十錢前後爲最高價。後受硫安供給過剩壓迫。價不能起。而配給組合買收浮動品。迄無效果。落至組合所定之價以下。政府實施肥料統制法。以三圓三十錢爲最高價格之事。已無大效。此統制法之效果深恐消費者反對。政府價格統制。全無意味。商工農林兩省。頗留心於對策也。

# 世界動力四回總會
## 一九四二年開日本
### 網羅世界五十國權威者
### 昭揚工業日本最好機會

東京二十五日電。本邦化學界。近來駸々躍進。至世界之眼孔。今也。無不凝注而來。當此之時。世界動力會議。第四回總會。決定開於本邦。卽足以潤色我工業日本之該會議。網羅世界五十國學者。政治家。實業家。而爲組織。從來總會每六年。一開於各國主要都市。第一回一九二四年開於倫敦。次開於伯林。第三回今年九月開於華府。最後倫敦開該會議國際執行委員會。要求日本動力協會。有一九四二年第四回總會。欲開於日本。至華府會議之前至急回答諾否之語。該協會。以此爲工業日本之威容。昭揚於世界一絕好機會。決定快諾。近橋本圭三郎會長。與廣田首相及賴母木遞相等會見。求得政府贊同。而後回答。又協會決定第四回總會。開於東京。所需豫算。[illegible]

# 枝仔冰亂賣
## 將見妥協
### 近正式會談

日本食料。臺灣製氷兩會社。進出製造枝仔冰以來。與冷凍組合一邊。競爭賤售。至最近妥協之氣運濃厚。日前有冷凍組合河野光。日本食料李仁貴。臺灣製氷洪進興三氏會合。就一、兩會社所有之箱。原料。香料等。由冷凍組合。以相當之價格買收。今後兩會社。中止製造枝仔冰。二、製造額。販路價格等協定後。兩會社加入冷凍組合。以上二案爲中心。種種協議。然双方關此妥協。殆無異議。不久欲正式會合。期圓滿解決云。

# 全島警務部長會議
## 就郡警分離爲中心
### 臺北新竹以次答申

全島警務部長會議。二十四日正午。臨席伴野高等法院檢察官長之招宴。次于督府正門。撮影記念。午後一時半。會議續開。就左記諸問事項答申。一、鑑于現下之情勢。本島警察制度上。認要改善所關之意見如何。時由石川臺北。高原新竹兩部長。以郡警分離爲中心。而就蕃地行政之刷新。及于臺北市。設置特別警備隊及警察病院等。熱心答申。至午後五時半散會。翌二十五日。由臺中。臺南。高雄各部長及三理蕃務課長答申。又前記兩部長之答申內容。大體如左。

▲石川臺北部長　助長行政若爲相當援助。除蕃地外郡警分離。卽時斷行亦可。實際問題。次就蕃地行政之刷新。甲種巡查。乙種巡查之區別撤廢。警察力之充實。殊如臺北市。設置特別警備隊。外事警察之充實等。開陳意見。

▲高原新竹部長　就警察精神之向上。警察官教養之徹底。警察病院之設置。警察官待遇改善等答申。又就郡警分離。與石川臺北州警務部長。同樣意見。

# 恒春漁船
## 擅取海人草
### 賣與馮德安

高雄州恒春郡。小森某所有船漁福丸。日前不受督府許可。擅往勃拉達斯島。採取海人草。約達三千斤。每斤以十二錢。賣與馮德安。事出二十四日歸港之富士丸報出。故海人草組合。一大起恐慌。卽派山田副組長外三名。訪州當局。向家村勸業課長陳情。在州當局。似欲待詳細調查後。斷然處分之云。

# 羅東腦炎患者

羅東街。去二十二日。突然發生眞性腦炎患者一名。由郡及街之衞生係員。設法消毒。並將患者移入避病舍治療。該患者羅東街羅東人。林金水之孫。林茂泉。生後六箇月。因貧故。更由街當局。給與以食料云。

# 再製茶
## 千六百餘萬斤
### 紅茶激減

殖產局特產課調查。十年中再製茶生產狀況。烏龍茶五百二十八萬斤。三百五十三萬圓。包種茶五百六十八萬斤。三百八萬圓。紅茶五百四十八萬斤。三百九十六萬圓。綠茶一萬二千斤。五千餘圓。計千六百四十六萬斤。包種茶多於前年二萬斤。乃因輸出滿洲增進。紅茶減少五十四萬斤。卽前年好況之反動。及輸出檢查創始。粗惡茶減少也。

# 來期產糖豫想
## 千五百三十九萬擔
### 多於前期七十二萬擔

[illegible]臺灣支部發表[illegible]新式製糖[illegible]十一二年期產額第一回調查。原料耕作面積[illegible]糖分一成三分一厘九[illegible]產糖[illegible]前期糖分實績[illegible]

# 慈惠義塾
## 寄附建築資金
### 將交涉買地

艋舺慈惠夜學義塾。今又來由該地有志。籌謀新築創設建築委員會。萬華如水社殘金約六百圓。艋舺信用組合役員退職賞與金九百圓。計一千五百圓。已各承諾寄附。簽印淸楚。正待同仁局開役員會。交涉買地。使欲設計建築。蓋同仁局有現金三千餘圓。前承塾長黃聯發氏等之託。願將其所有金項。買收龍山寺町土地。無償借與義塾新築。目下義塾之艋舺俱樂部。家屋相當頹壞。不堪多人數之日々登樓使用。而該塾亦急於建築。近日中同仁局欲開役員會。進行買地云。

# 高州產調貿易部委員
## 開第一回磋商會
### 推擧米雜貨薯簽小委員

高雄州產業調查會。商工貿易部委員第一回磋商會。去二十四日下午一時半。開于商工獎勵館樓上。有主查中田稅關長。中村。村上。牧山。大槻。日岡。楠山。大江。松田。中島各委員。及州廳一邊。卽宮本產業主事。西澤商工獎勵館長。高橋商工主任外係員出席。定刻。中田主查敍禮後。並開陳調查細目決定方針。云力避廣汎調查。而選定適于州下產業開發興隆。且有實施可能性之案。得滿場贊成。卽附議州當局作成之調查細目原案。由各委員交換意見。並愼重審議。關于米之小委員。推薦村上。牧山。中島三氏。雜貨及切乾薯小委員。推中村。楠山。杉原三氏。而其他項目。云俟第二回會議時發表。又築港出張所之港灣施設可否。改日再議。四時散會。又關于米之答申案。一、防止粟靑實買方法。一、米穀檢查所機能之改善擴充案。一、南部正米市場設置案。由村上。牧山。中島三委員協議。作成具體案。提出于來八月四日。第二回磋商會。而雜貨及切乾薯之答申案。一、雜貨價格之統制及降價案。一、切乾薯之檢查規定制定實施案。由中村。楠田。杉原三委員愼重研究調查。作成答申案。提出第二回磋商會云。

# 太平山事業
## 將移於三星山
### （上）

既報太平山爲督府營林所經營三大斫伐事業地之一。大正四年度事業開辦以來。已閱二十二年。所要針葉樹已斫盡。明年三月末。事業地將移於羅東兩郡界之三星方面。現在太平山之高山部落。亦隨而移轉。現部落在海拔四千九百尺處。人口約五百。營林所事務所之外。有神社。小學校。警察官駐在所。郵便局。俱樂部等。自國鐵羅東驛。藉運材鐵道。翔行宜蘭濁水溪及其支流塔母溪二十七軒。可至土場。是處有俱樂部。得以止宿。亦得浴以湧出冷泉而焚燒之溫泉。此處有樫之木平。直立一千三百尺。俱樂部前有全國一自動索道。運搬旅客。此索道斜面距離三千尺。作二十餘度急斜角。以鋼索吊十人乘客車。約昇騰六分間。其動力非電氣。乃以運材臺車。撤下木材之力。用釣瓶式押上。此車非此處不得望見。雖屬僅少時間。而客車懸於空中。未有發生事故。自樫之木平乘機動車牽引之臺車。直達太平山部落。此部落爲入加拉山山奧約一時間半。中心之一帶山岳。約三千甲之山嶽地帶。就中海拔六千尺至六千六百尺。有檜及紅檜。千古斧斤不到。大正四年度起。至昭和九年度二十年間。砍伐面積二千五百八十九甲。其造材丸太材積多至六十四萬四千二百立方米。羅東貯木場着之販賣材積四十九萬四百立方米。其所要支出總額一千百六十五萬圓。收入總額一千六百十二萬圓。對除國庫純益四百四十七萬圓。

# 故兒玉總督
## 遺品展覽

兒玉總督三十年祭記念展覽會。二十四、五兩日。各自午前八時至午後二時。在博物館。陳列其遺品。有遺墨。藤園記念畫帖。南菜園寫眞。詩集。奉天戰利品砲彈。遺物軍服。轎。馬車。轎夫服。及臺灣揭文會策議其他。臺乃臺北第一師範學校。武德會臺灣支部。及在北內地人所珍藏者。琳瑯滿壁。足以想見將軍當時英風也。

# 市村教授
## 調查太魯閣
### 發見クロム鑛

[illegible]帝大教授市村毅氏。[illegible]二十一日[illegible]調查內[illegible]

余爲調查內太魯閣地質入山。在未到錐麓約千七百米前。坂道左側岩面。發見有クロム白雲層露出。顧クロム鑛。余自信本島地中。必有此物。惟不意者番。不毀勞力。容易發見。該鑛石。得採取貴重之クロム。且其埋藏量。料必頗多。要徹底調查之也。

# 舺船二隻
## 被撞潰沈沒
### 損害三萬圓

去二十三日午後三時半頃高雄港碇泊中之高知丸。將拔錨時。爲烈風所煽。繫在浮標之大纜。遂爲切斷。致與元明丸之舺接觸。切斷該船繫纜。爲是元明丸。受其反動。欲移動於岸壁。遂撞潰停船于元明丸與岸壁間之臺灣運輸會社第十九號舺船及第二號舺船。使船貨共沈海底。第十九號舺船。滿載硫安四百袋。第二號舺船。載有砂糖三百六十袋。損害額共達三萬餘圓云。

# 共益自動車
## 運轉時刻變更

羅東共益自動車會社。此次再增新車二臺。對山線及海岸線乘合車。運轉時刻。自來二十五日。均有變更。而山線。卽羅東。冬山。蘇澳間。增加十回。蘇澳。南方澳間增十二回。海岸線卽羅東。利澤簡。猴々及新城間。增加四回。而變更之時刻。均揭于發著所之待合所前。因蘭陽地方最近各方面頗爲發展。增加運轉回數。及最終車卽羅東。蘇澳間。改爲午後九時。蘇澳。南方澳間改爲午後九時四十分。得各方面之好評云。

# 東石腸疫
## 多至十四名

東石郡。義竹庄。及其他部落。自去五月以來。發生傳染病。腸窒扶斯。五月二名。六月八名。七月四名。總計有十四名。據醫家所云。多由暑天之食物不愼。至於蔓延。大家要嚴守衞生也。

# 新竹阿片密吸事件
## 自供密輸中國阿片
### 押麥金梅上北搜索證據

既報新竹署。關於阿片密吸及阿片令違反事件。前已檢擧州協何友家氏外七名。留置取調。近復召喚元府評鄭神寶氏。嚴重查究。該事件內容。似非僅密吸問題。就中某氏。聞已自供出中國密輸阿片。是以新竹署。于去二十三日。將留置中之鄭氏關係人麥金梅。押到臺北調查證據。事件益見擴大。或將波及於該市內某有力者及某代書人。元某銀行員元某庄長。元某苗栗郡巡查。大甲郡後龍庄某資產家[illegible]。或未可知云。

# 新竹神社
## 募寄進金
### 以擴張神苑

[illegible]

# 出獄未幾
## 到處行竊
### 買車運載贓品

基隆市壽町三丁目。無職吳其祥。年四十。本年三月。出刑務所。離于渡日四月十五日夜起。凡數回潛入義重橋町。山本市太郎氏之家。竊取滿園。衣類。空凉水肝等。換金後購入後。拖車一臺。將所竊取之石井鐵工場其他物品。載于車中。日前潛入眞砂町。角谷定正氏之庭園。被家人發見呼賊。適經過附近之堀。鄭兩刑事。及澁谷巡查聞聲。協力捕住之云。

# 無鑑札齒醫

東石郡東石庄塭港。無鑑札齒醫。鄭丁正。年二十三。自本年五月。許在嘉義東石地方。密行醫齒。今回嘉義郡警察課採知注意及之。去二十二日。在郡下新港庄被愛甲郎兩刑事捕住。自認被補齒者。凡十八名云。

# 臺東街附近
## 多無鑑札齒醫

最近臺東街附近。本島人部落及蕃社方面。無鑑札齒醫頗多。臺東支廳。于去二十三日午後二時頃。檢擧一人。卽臺南州北門郡佳里街人林助。自一月前。由西部潛入東部。以亞施露愛爲根據地。表面裝作業農。陰對農民施術其證據品。匿藏在蔗園中亦經被發見押收。現尚留置臺東支廳。續查中云。

# 竊取鐵材
## 破獲兩誌

桃園郡人。前科四犯呂成來。年四十一。基隆市堀川町人。探炭夫翁燕室。年三十七。楊廷生。年三十四。右三名共謀。自去四月以來。竊取基隆炭鑛第三坑之鐵線。價格一千餘圓。售于古物商。事被探知。逮捕到案。又住所不定。前科三犯吳金童。年三十六。同黃水城。年三十四。兩人共謀。竊取基隆炭鑛。肥料會社。電力會社其他之鉛管。鐵材等價格一千餘圓。售于古物商王選。被堀。鄭兩刑事逮捕。現嚴究中云。

# 大本教信徒
## 尚未改宗
### 受北署檢擧

邪教大本教。自撲滅以來。當局極力糾選信徒。自發的改宗。並注意其行動。最近臺北市內。有一部信徒。依然不改宗。暗中蓄動。[illegible]信。極力[illegible]二十四日下午[illegible]

# 是々非々

西門街。自市區改正後。店舖美觀。營商者亦競爭裝飾。但欠灑水。塵埃紛々。此點望街當局考慮之也。（實際問題）保正致人書。已某々收。欠理也（一[illegible]受信者[illegible]數不對[illegible]）[illegible]

[illegible]毆打店主。使負重傷。則未免蠻勢。損人太甚。且警力亦非法治國之所許也。（林口庄公館）某日上午三時許。屏東市某工場人。怪賊失火。驚動隣人。自夢中驚醒。跳出戶外。實則全無其事。其可惡之惡作劇也（夢火厭後之類）屏東某某工場工人某甲。竊隣婦人入浴。[illegible]（日西報句惡）

# 羅東

## 龜山視察

蘭陽旅行俱樂部羅東驛。爲組觀察團。觀察龜山島。而第一回募集人員五十名。經於日前因應募參加者超過。再募集第二回。亦參加人員。比豫定人員。超過倍數。不得已再募第三回。然第一回。訂本二十六日午前五時半。乘羅東驛發之列車。赴龜山驛。轉乘汽船。赴龜山島。第二回視察團。出發期日。訂來二十七日。第三回之視察團。因各回均告滿員。訂八月二日出發。羅東驛長及同驛驛員。頗爲滿足云。

## 講師講習

羅東郡教化聯合會。訂來二十七日至三十一日。五日間。每日自午前八時。在羅東女子公學校。欲開國語講習所講師講習會。而講習科目卽公民科大意。國語講習所使命。就國語講習所經營及國語教育。國語教本取扱方法。國語講習所唱歌等。會員有三十五名云。

## 射擊會期

鄉軍宜蘭分會。訂本二十六日午前八時。在宜蘭第二中隊。欲盛開射擊大會。又自午後一時。在同營庭。開銃劍術大會。

# 大溪

## 郡守新任

新任大溪郡守松田光治氏。月二十四日午前十時抵任。多數官民。出於郡役所前迎接。後在公室受各小公校校長。及街協接見後。當日出州敍禮。

## 學所願祭

國家隆昌祈願祭。大溪郡大溪街。於月二十四日午前八時。在於大溪神社前。官民數百名。由郡守代理今井警察課長。致各團體代表。一一奉玉串。後行最敬禮而散。

## 國防獻金

大溪郡龍潭庄三坑子人李盞日李盞世二氏。前日爲協助警官搜查犯人。得州防犯聯合會長賞金各三圓。聞二氏卽別該金再各添加二圓。計十圓。提出爲國防獻金。一月二十三日午前十時。到郡警察課。託爲[illegible]云。

# 會事

▲宜蘭小學校。訂本二十六日午前九時。在同校內。欲開同窓會。去二十四日。由該校長。發表會之順序。卽先舉物故職員。及卒業生追悼會。次報告會務。選舉役員。會員談話。午後開遊會。自午後一時至三時。由會員出演種々餘興。

# 商況（廿五日）

## 米況

### 正米市況前場

▲一期蓬萊米

| 當限 | 中限 | 先限 |
|---|---|---|
| 一〇、六七 | 一〇、六七 | 一〇、六九 |
| [illegible] | [illegible] | [illegible] |

## 期米

### 東京期米前場

| 節 | 當 | 中 | 先 |
|---|---|---|---|
| 一 | 三三、二九 | 三三、三九 | 三三、二九 |
| 二 | 三三、二九 | 三三、三八 | 三三、二九 |
| 三 | 三三、三〇 | 三三、三七 | 三三、二八 |

## 株式

### 神戶期米前場

[illegible]

### 大阪短期前場

[illegible]

### 大阪長期前場

[illegible]

### 東京短期前場

[illegible]

### 東京長期前場

[illegible]

### 東京銀行貸株

[illegible]

### 紐育株式

[illegible]

## 公債

### 東京國債前場

[illegible]

## 爲替

### 外國爲替相場

[illegible]

### 神戶對外爲替

[illegible]

## 穀肥

### シカゴ小麥

[illegible]

### 神戶豆粕

[illegible]

## 砂糖

### 玖馬

[illegible]

### 爪哇

[illegible]

### 大阪現物

[illegible]

### 大阪濟算

[illegible]

## 銀塊

[illegible]

## 絲況

### 大阪綿絲

▲前場

| 限 | 寄 | 引 |
|---|---|---|
| 七月限 | 二一四、九〇 | 二一四、八〇 |
| 一月限 | 二〇六、三〇 | 二〇五、八〇 |

### 大阪棉花

▲前場

| 限 | 寄 | 引 |
|---|---|---|
| 八月限 | 六九、六〇 | 六九、三〇 |

### 大阪人絹

▲前場

| 限 | 寄 | 引 |
|---|---|---|
| 七月限 | 六一、七〇 | 六一、七〇 |

### 横濱生絲

▲前場

| 限 | 寄 | 引 |
|---|---|---|
| 十二月限 | 七〇七、〇〇 | 七一三、〇〇 |

新案漫畫合戰　明石五一郎先生　川原くにを先生　（23）

1
2
3
4
ハヤク カクソウ
ワーイ アワテテ ニゲダシタワ
キット サウヨ サキマハリシテ イッテミマセウヨ
ハハア ココニモ ヒミツノバショガ アルンダナ ヤッコサンタチ ココヘ カケツケ タニ チガヒ ナイ

臺灣日日新報
[illegible]

# 改造

## 二・二六事件

事件後の日本を語る（座談會）　吉生久・大森義太郎・鈴木茂三郎・杉山平助・馬場恒吾・町田梓樓・和田日出吉・山本實彦

### 日本を震撼せる四日間

（かの歴史的四日間の秘録を漏れなく傳へた事件發展上貴重な記録）　X・Y・Z

▽判決に對する感想

▽陸軍省發表判決全文…

▽首謀者列傳……

▽事件と右翼思想　喜入虎太郎

陸軍三頭の動靜　山浦貫一

▽當時の永田町

▽その日の西園寺公　松崎良次郎

平生文相に與ふ　和田英作

▽農村における租税外の公課は過重でないか…大内兵衛

★北海道日食觀測記

特別寄稿　アストン　山本一清　ストラットン　竹内時男　スローカー　平山清次　山本英子

★蒙古挿話　中西伊之助

▽第二世の誕生…中島直人

▽映畫（戯作）…伊丹万作

萬爺の死（小說）…李光洙

羅馬飛行…内田百間

忽必烈　山本實彦

▽財政インフレの金融的側面…波多野鼎

▽山と海

▽ルーズベルトは再選せらるゝか（其他）世界情報

武器取引萬華鏡　有澤廣巳

▽惡妻　小堀杏奴

▽日露戰爭と明石將軍

英國保守黨の研究…馬場恒吾

▽飜譯の生理…伊吹武彦

▽日本に乾杯する…ティボー

▽ジゴオリキイの誕生…中條百合子

巴里・伯林・倫敦

音樂（小說）ゴオリキイ

釣魚談議　中村鈞藏

夏と人（アメリカの女）

花やかな亡命客　大佛次郎

熱河・登山・琉球記

青年教育論　長田新

▽ファシズム・アプル時代…島田晋作

▽國策氾濫の示唆…北條三郎

▽財界うらおもて…S・T・U

小說　顏　大谷藤子

小說　青春の星　里見弴

小說　あめりか　石川達三

小說　途上　加賀耿二

▽近時憤懣録…杉山平助

▽瞿秋白傳…遊士頓一郎

▽新聞新樣相論…青野季吉

臨時増刊　改造社

★反動期と青年

青年論の性格…森戸辰男

知識階級と文化運動…戸坂潤

ひとりの青年に與ふる手紙…大森義太郎

---

# 文藝春秋

八月特別號

## 二・二六事件の發生と處斷の考察　御手洗辰雄

### 肅軍と庶政一新の跛行

・政治の明朗性…馬場恒吾

・戒嚴令の歴史的意義…風見章

・事件の後に來るもの…船田中

時評　壯丁體質の低下（社會）岡邦雄　新聞航空陣の競爭（新聞）　オリンピックの鼻息（ラジオ）

事件後の財界を攻る　藤原銀次郎

事件後の政黨を語る　齋藤隆夫

人物紙芝居　★喜多壯一郎　★島崎藤村　★松澤一鶴

都市欄　本津岡阪　松沼高大

國策閣議の難破・城南隠士

陸軍豫算と社會相　鈴木安藏

國防國家の現代性　牧野輝智

動物學者座談會（吾國動物界の最高權威達が語る動物綺譚漫談の興味深し！）

戰爭化したイニシアティヴ　武藤貞一

庶政一新物語　吉田絃二郎

花散る巴里　横光利一

エロイーズ物語　獅子文六

★義務教育年限延長の賛否・諸家

★一言話して貰ひ度い人とその理由・諸家

話の屑籠　菊池寛

スラムプの說　久米正雄

特別讀物集

皇后の影法師（傳奇小說）小栗虫太郎

白耳義の地図（讀物）橘外男

めめず動いてる（小說）徳川夢聲

戯曲　雨　藤森成吉

小說　パイプの話　藤澤桓夫

小說　あらたま　島木健作

★銷夏娛樂の頁★

文藝時評　室生犀星

短歌　鷲　川田順　釣　橋本　淺間山麓　松村英一

書　扇風機のいたづら・和田邦坊

讀　眞夏放談・石黒敬七

寢　新聞を手切る夫・吉本明光

本　こんな思ひ出・林芙美子

机邊の清風萬斛

二十五年前の劔岳・山田珠樹

太子河・岡本綺堂

あの山この山・河東碧梧桐

山々ばなし・市河三喜

山水おぼえ帳・佐藤春夫

特輯　京風讀本

拔本塞源より國策邁進へ　蠟山政道

上海に於ける不快・橋本關雪

ビール漫語・成瀬無極

鈴木三重吉との因縁・辰野隆

書齋漫筆・九鬼周造

ロシア人氣質・秦大佐

外國で會つた人々・桑木嚴翼

義務教育延長是非　末川博

南洋策源論　伊藤正徳

特價六十錢　文藝春秋社

ラヂオ聞くにも新聞讀むにも重寶な案内

オリンピック便利帳

隨筆

[illegible]

---

# 腸胃カタル良藥　ヘルプ

主効　飲過食過　食傷・氷衛　寝冷・冷腹　時候傷り　消化不良　等からの

くだりはら　はらくだり　はきけ　しぶりはら　腸カタル　胃カタル

定價　二十錢　一册　五十錢　一圓　三圓　六圓

全國有名藥店ニアリ

---

父澁谷武次郎儀病氣療養中の處藥石其效無く二十五日午前一時永眠致候間此段及謹告候也

追而葬儀は二十六日午後三時西本願寺にて佛式にて相營み可申候

昭和十一年七月二十六日

男　中村多維基

松本甚美子

岡道定太郎

令川虎太郎

長谷令吉

池田福逸

藤井好治

奥秀太郎

宮内房吉

興亮

---

本會長澁谷武次郎殿二十五日午前一時逝去セラル右及通知候也

香川縣人會

---

當組合理事澁谷武次郎殿病氣療養中ノ處昨二十五日午前一時逝去相成候間此段組合員各位ヘ謹告仕候

昭和十一年七月二十六日

臺北工材信用購買販賣組合

---

當園長澁谷武次郎殿七月貳拾五日午前壹時逝去被致候間此段謹告仕候

七月貳拾六日

元園町會

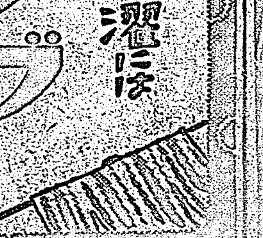
元園共和會

---

絹物の洗濯には

ゲンブ

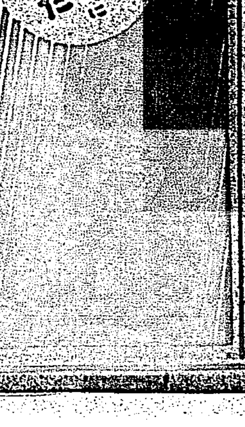
マルセル石鹸



第一工業製薬株式會社

---

いんきんたむしに



---

好評嘖嘖

セーラー萬年筆

一本で細字と太字と書ける

兩面書

PAT. NO. [illegible]

¥4.00以上

表側で細字　裏側で太字

## 臺灣と石炭埋藏量の調查
### 工業臺灣の實現に是非必要

一

十七世紀初葉にアメリカのペリー提督が、所謂黒船を仕立てて浦賀にやつて來た折り、我が臺灣にも立寄り、基隆を始め東海岸の河川や天然資源の調査やらをやつた報告が、詳細な記錄となつてのこされて居ることは人の知る通り、それには東海岸の砂金のことを始め基隆方面の石炭のことが相當詳しく載せられて居て、言はば北臺灣の炭田は今を去る二百數十年前から世界的に有名になつて居るわけである、從つて改隷以來の本島炭田が著しく開發せられ近年に至つては年約百五十萬噸、一千萬圓といふ金額の石炭が掘出されて居るのも素より當然のことであるが、然らば一體臺灣に如何程の石炭埋藏量があるの乎といふ問題になると、遺憾ながらかいくれそれが判つて居ない。

二

唯だこれに就ては大正年間[illegible]鑛務課長時代に於て其の埋藏量約四億噸といふ報告が爲されて居るが、これとて科學の手を盡くして正式に調査したものでは無くて、言はば目分量といつていゝやうな推測に過ぎなかつた、爾來今日に至るまで唯だの一度も此の關係の調査に一向手が下されて居ないのである、之に就て內地では明治四十年より二年間と昭和四年から三年間と二回に亙り精密な調査が爲されて、其の埋藏量約一百六十六億噸といふ見當が確とつき立派な報告書が出て居り、又た朝鮮總督府では大正十一年より今日に至るまで引續き調査を爲しつゝあつて、その報告書の如きも昭和二年から發刊し最近は已に第十一卷を出して居る、之に依れば朝鮮全國に亙つて無煙炭のみの埋藏量約五億噸と推定されて居る、古くから世界的に有名な石炭國臺灣の埋藏量のみは全く不明で、その儘めくら滅法に唯だ掘り出して居るといふ狀態に在るのである。

三

人も知る如く最近國策としての燃料問題は極めて重大化し、我が國が殊に石油資源に缺乏して居る爲めに、石炭液化事業の重要性が著しく增大し來り臺灣に於ても已に現實の問題たらんとして居る、一方には亦た糖業に依てできるバガスの化學工業化が實現せんとして居るので、糖業者の燃料に充當されて居たバガスが假りに全部石炭に代へられるとすれば、全島で年約九十萬噸の石炭を必要とすることになつて居り、更に最近產業化やアルミニユームの製造會社が出來て年額六萬噸のコークスを必要とするが、之だけのコークスを得る爲めには生石炭年額三十六萬噸を要し、又た國防强化の爲めに鎭守府や要塞司令部等の新設を見る曉には、陸海軍の需要する石炭の量ばかりでもいづれ年數百萬噸に及ぶに相違ない、現在に於ての石炭年產百五十萬噸の內島內消費が約百萬噸であるから、殘り五十萬噸を從來の如く對岸又は內地に出すのを止めて了つたとしても、所謂自家自給などは思ひも寄らぬことゝなり若し輸移入の石炭に待つことゝもなれば、興るべき工業も興り得なくなるのみか、既設工業も鈍るの外はない。

（四）

近時局の刺戟を受けて工業臺灣出現の勢は誠に著しきものあり、本島炭の需要多々益々增大するに際しては、先づ第一に其の埋藏量の見透しがつかないことには工業會社がプランを立てることも出來なくなり、工業の進出がこゝに阻止さるゝ結果を招來することになるのである、從來督府の施設としては石油工業には惜し氣もなく多額の資金を注ぎ込まれたるにも拘はらず、石炭工業に對しては殆んど何等積極的方策に出でず、全く自然の儘に委して置くことが餘りにも片手落の感が深いのである、吾人は此の意味に於て本島石炭業の前途に多々重要の加重せらるゝ事態を確實に認識し、同時に內地及び朝鮮の如くに其の埋藏量調査に一大步武を進めて、各方面の需要家に對して島炭の今後の見透しをつけ得るやうに仕向くることが、當面の喫緊事であると信ずる

大谷光瑞師はその近著に於て「臺灣は地上の產物については殆ど力限もない程調査が行き屆いて居るが、若し夫れ地下三尺の事となると全くくら闇だ」といふやうな意味を述べて居るが、從來の遣り來りを顧みると、旨く圖星を衝かれた感が深いのである。

---

# 空軍擴充のため航空兵團を創設
## 司令部令公布來月より實施

【東京二十五日發】國防充實と空軍擴充のため陸軍では今回新に航空兵團を創設し航空兵團司令部令を近く公布し八月一日より之を實施することに決定し二十五日午後一時三十分陸軍省より左の如く發表した

【陸軍當局談】陸軍に於ては航空の飛躍的進步を計り近代的國防に缺陷なからしむるため航空兵團司令部を設置し、現在各飛行聯隊が個々に師團に隸屬してゐるのを航空兵團に統合するを至當と認め、去る二十四日航空兵團司令部令を上奏し、御裁可あらせられたので來る八月一日より設置せらるゝ事となつた、現在の陸軍航空は歐洲大戰當時の所謂航空偵察上軍隊の耳目として活動する域を脫してゐない、然るに列強航空の情勢は之を一變し最新鋭武力として國防上の重要なる役割を擔當するに至り空軍的組織と戰術とを以て戰略的活躍を爲しつゝある事は周知の通りであるが、此の間我が陸軍航空も大いに近代的要素を採り入れたが更に一大飛躍を要する情勢に迫られ、此際に航空兵團に統合せらるゝ事となつた次第である、而して飛行聯隊が各師團より離れ航空兵團となる事は一見地上軍隊から隔絶するやうに見えるが事實は威力の發揮せる空中武力を以て最も效果的に地上作戰を有利ならしめんとするのである

## 改正の要點
### 中央三大官衙に比肩する大機關

【東京二十五日發】二十五日附官報を以て陸軍航空本部中改正の件が公布されたが其の要旨は

一、從來陸軍省及び技術本部に統合されてゐた點を官制化し

一、更に來る八月一日より東京に航空兵團司令部が新設されるに伴ひ航空本部長は試驗研究のため必要と認むる時は教育總監、軍司令官又は師團長の外に航空兵團長にも要請することとした

右二點であつて右の改正に依り航空本部は航空の擴張に伴ひ事實上中央三大官衙たる陸軍省、參謀本部、教育總監部に比肩する大機關となるわけである

## 屏東八聯隊は兵團司令部直屬
### 指揮命令が一元化

【東京二十五日發】航空、防空の充備については陸軍より提出の新國防十一年計畫に依りその具體化が企圖されてゐるが航空充實については昨年七月二十五日軍令をもつて飛行團司令部令が布かれ八月一日第一飛行團司令部が岐阜に、第二飛行團司令部が會寧に設置され同時に航空本部及び全國要地に數箇所の支廠を設置し更に濱松に航空技術學校を熊谷に飛行學校を創設しこの外航空本部の內部機構にも改革が加へられその組織の强化を見たが更に本年八月一日實施される陸軍省官制の大改正によつて航空行政に關する一切は航空本部の管掌する所となり竝に航空軍の指揮命令が一元化しその威力を綜合的に發揮されることとなつた譯である、しかして航空兵團司令部の編制は司令部を東京に置きその下に第一飛行團司令部（各務原）第二飛行團司令部（會寧）の兩司令部を置き第一飛行團司令部は飛行第一聯隊（各務原）同第二聯隊（各務原）同第七聯隊（濱松）をもつて編制し第二飛行團司令部は飛行第六聯隊（平壤）同第九聯隊（會寧）をもつて編制される、尚飛行第三聯隊（八日市）同第四聯隊（大刀洗）同第五聯隊（立川）同第八聯隊（屏東）は兵團司令部直屬である

## 航空兵團司令部令

【東京二十五日陸軍省發表】航空兵團司令部令

第一條　航空兵團長は陸軍大將又は陸軍中將を以て之に親補し天皇に直隸し部下飛行隊を統率す

第二條　航空兵團長は部下飛行部隊の鍊成につき其の責に任ず、但し專門教育に就ては此の限りに非ず

第三條　航空兵團長は部下飛行部隊の動員計畫を監督す

第四條　航空兵團長は軍政及び人事に關しては陸軍大臣、作戰計畫及び動員計畫に關しては參謀總長、教育に關しては教育總監の區處を受く

第五條　航空兵團長は陸軍大臣の定むる所により部下飛行部隊長をして當該部隊の經理、衞生其他必要なる事項に關し師團長又は軍司令官の區處を受けしむるものとす

第六條　航空兵團長は隨時部下飛行部隊を檢閱し每年概ね軍隊教育期の終りに於て檢閱の實況及び意見を奏上し且つ陸軍大臣、參謀總長及び教育總監に報告すべし

第七條　航空兵團司令部に左の職員を置く

參謀長、參謀、副官、部附、參謀及び副官を合して幕僚とす

第八條　參謀長は航空兵團長を補佐し、航空兵團長に對して事務整理の責に任ず

第九條　幕僚の各將校及び部附は參謀長の指揮を受け各自擔任の事務を司る

第十條　准士官、下士官及び判任文官は上官の命を受け技術又は事務に從事す

第十一條　戰時其他非常時の場合に際し航空兵團長は一時その部下飛行部隊を移動せんとするに當り急を要する時は之を實行したる後直ちに陸軍大臣、參謀總長に報告し關係師團長に通報すべし

附則　本令は昭和十一年八月一日より之を施行す

## 吉田副頭取歸任期

【東京二十五日發】吉田臺銀副頭取は八月四日東京出發歸臺する筈である

# 西班牙の左右抗爭急轉して國際化か
## 佛國は武器を急送し政府援助
## 獨逸は叛軍に好意

【パリ二十五日發同盟】スペイン政府が武器彈藥の供給に就き英佛兩國の援助を要請した結果、內亂は一轉して歐洲政局に重大波紋を投ずるに至つた、英國政府は其の要請を拒否、嚴正中立を維持してゐるが、佛政府はファッショ政權が成立するのを極度に懸念しスペイン政府援助の底意を抱いて居るものと觀られてゐる、右翼各紙の報道に依ればブルーム佛首相の指令に基き佛政府は軍用機二十五、機關銃七十五、彈藥二萬をスペイン政府に交付したと傳へられる、スペイン內亂の重大化と共にスペイン居留外國人の生命財產は重大危險に瀕し將に義和團事變當時の情勢を再現してゐるが、各國政府は相次で自國軍艦を現地に急派し居留民の救助に緊密な協力を維持してゐるが、獨逸が軍艦二隻を派遣した事に就てはフランスは相當神經をいらだたせ早くも佛獨兩國の對立を暴露してゐる

## サ市の革命軍
### 砲擊されて一掃

【サンセバスチアン二十四日發同盟】革命北軍の殘部部隊は退路を斷たれてサンセバスチアン市內旅館マリアクリスチナに立籠り政府軍に對し頑强に抵抗したが政府軍が軍艦で同ホテルを砲擊したため遂に潰滅するに至つた革命軍最後の生存者二十七名は俘囚の恥を受けることを潔しとせず何れもホテル內に於て自殺を遂げた

---

**督府來年度豫算**

# 各部局の要求額二億五千萬圓に達す
## 結局一億五千萬圓位に削減か
## 主任查定開始さる

總督府財務局では去る八日以來來年度豫算に關する各局の要求說明を聽取して來たが、二十四日を以て之を一巡したので二十五日から八月四日迄各分擔に基き主任查定に入ることになつた、仄聞するところによると來年度要求總額は從來と稍々趣を異にし二億四、五千萬圓に上る見込みで、元より臺灣特別會計創始以來の膨大數字である、この膨脹を見た理由は例の重要國策案をそのまゝ包含し計上されてゐるためで（一件數千萬圓といふ新規事業計畫などを含む）之が查定に際しては財源關係から大削減を免れざる模樣である、歲入關係では約一割方の自然增收見越され、剩餘金勘定も大體前年度並の充當を用ゐ出來る見込みであるが、歲出計畫に於て重要國策實行となれば巨大なる財源を要し、更に不可避の一般會計繰入增もあり、ために之がバランスを取るためには此際何等巨額なる新規財源調達の要に立至つてゐる、即ち增稅、新稅或は新募公債等が必要とされ、場合によつては更に公債金の受入れ要求をまつて必要とするのではあるまいか、現在の財務當局としては先に提出せる重要國策の運命が不明だし、それに中央の增稅方針に一般會計への繰入れ金割當も今尚未決定の模樣であるので、このところ歲入歲出の目安を付け得ない狀態に見える、然し何れにしても十二年度豫算の膨脹は最早確定的のもので、要求豫算計數だけでも一億二千七百萬圓を超すから少くも一億四千萬圓、恐らく一億五千萬圓豫算出現が必至のものと推測さるゝのである

## 議會召集期九月初旬に
### 議會振肅委員會が近く正式に進言

【東京二十五日發】衆議院の議會振肅委員會は二十四日午後議長官舍に開會、協議の結果、會計年度變更の件は曆年制に依るを以て議會の召集期は九月初旬とする事を決定、近く正式に之を進言する事とし、次で常置委員會設置の件を附議したが依然贊否兩論あつて意見纏まらず遂に之が決定は三十一日に延期した

## 成都總領事館再開拒否工作

【東京二十五日發】二十五日川越駐支大使よりの報告に依れば中央通信社は南京政府の意向を受け四川省成都の帝國領事館再開問題に關し奇怪な報道を爲し成都は商埠地に非らざる爲南京政府は各國の領事館を設置せしめず從つて今回の日本の措置は不當なりと斷じた由であるが南京政府が中央集權化の政務を持つて萬ヶ一にも帝國政府の重大權益たる成都總領事館開館に關し拒否的工作を施すが如き事あれば實に由々しき外交上の問題であり加ふるに南京政府が未だ何等外交上の折衝に於いてこれが意思表示を行はざるに先立ち中央通信社を使嗾して斯の如き惡宣傳を開始せしめた事は如何にしても默認する事を得ず帝國政府は南京政府の態度如何に拘らず斷乎として既定方針を遂行し成都總領事館の開館を決行するの根本態度を堅持してゐる

## 東京府農工銀行勸銀に合併

【東京二十五日發】東京府農工銀行は今回日本勸業銀行に左の條件に依り合併する事に決定二十五日正式に發表された、合併條件左の如し

一、兩行は昭和十一年十月一日を以て合併す

但し勸銀は合併後資本金二百五十萬圓を增加し農工は合併に依り解散す

二、勸銀は農工の株式一株額面金額二十圓、全額拂込濟みのもの三十五萬株に對し勸銀の株式一株額面金額五十圓拂込濟みの其の七萬株及び現金六百二萬七千五百圓也を合併期日の前日現在の農工の株主に交付す（以下略）

## ブラジル經濟使節出發

【リオ・デ・ジャネイロ二十四日發同盟】ブラジル經濟使節團は二十四日午後大阪商船ブエノスアイレス丸で當地出發日本訪問の途に就いた、一行は平生文相の親善訪問に對する答禮を兼ね日伯兩國間の貿易關係促進につき日本政府の朝野と懇談を遂げる豫定である、使節の顏觸れは團長サルガード下院議員を初め使節六名、專門委員八名、秘書二名計二十五名である

## 日支經濟提携を打診

【南京二十五日發同盟】須磨南京總領事は二十五日午前十一時張外交部長を訪ひ日支經濟提携に關する支那側の態度を聽取した後北支問題、中山、萱生事件その他懸案につき支那側が表面を糊塗せる現狀を指摘して速かに誠意を以て解決せんことを督促したが張外交部長は「日支問題は要に二中全會で聲明せること雙方誠意を以て當れば打開の餘地あると信ずるから今後は一層その促進に努力する」と誠意を披瀝した

## 大橋次長歸京

【新京二十五日發】大橋滿洲國外交部次長は滿ソ國境問題につきソ聯側極東各都市代表と意見交換のため個人の資格で去る十三日入露しチタ、ハバロフスク、イマン、ニコリスク、ウラジオストツク等各都市を訪問しソ聯側代表と會見して私的懇談を遂げ二十五日午前十一時新京着歸任した

## 全島警務部長會議終了

全島警務部長會議第二日午後は一時半から開會され他官署の希望事項に移り內務局、檢察局、軍司令部、殖產局より希望の開陳あり次で警務局の法令事項及各州提出事項を審議し石垣警務局長の挨拶あつて午後五時半閉會した、出席者は午後六時から警務局長の招宴に臨んだ

## 中島主計課長中南部を視察

財務局中島主計課長は來年度豫算編成に先だち各局よりの要求說明の聽取を了したので來月三日迄の小閑を利し廿六日夜行にて南下、高雄より澎湖島に渡り同地視察の上引返し、高雄、臺南、臺中三州下の視察をなすことゝなつた、三日臺北歸着の豫定である

## 督府辭令（二十四日）

任督府中央研究所技師兼督府專賣局技師　專賣局技手　野本　只勝

敍高等官六等（公立高等女學校教諭）　太田　最胤

同　小柳　潤夜

任公立高等女學校教諭　敍高等官七等（各通）

任公立實業學校長　公立商學校長從六位勳六等　石川　誠一

敍高等官五等（以上內閣）　中央研究所技師　野本　只勝

九級俸下賜

公立高等女學校長

七級俸下賜

同

補臺北第二高等女學校教諭（各通）

公立實業學校長　石川　誠一

九級俸下賜

補東石農業實修學校長

## 人事

▲藤村寬太氏（花蓮港廳長）二十六日臺北發歸任

▲福元岩吉氏（澎湖廳長）二十日夜行にて臺北發南下歸任

▲小林富次郎氏（ライオン石鹼會社社長）▲小林和三郎氏（同取締役）▲吉田武夫氏（同大阪支店長）二十六日午後基隆に赴き一泊二十七日蓬萊丸にて內地へ

## ★シナチク★

內外地人事の入替刷新と大袈裟に言ふには少しく御少分に過ぎるけれども、今度、拓務本省と總督府との間に事務官級一名の入替が行はれた▲昭和二年四月田中內閣の下に拓務省が店開きをしてから總督府との間に行はれた目星しい入替の跡を見ると、先づ生駒高常君が臺中州知事から本省監理局長になり、それから殖田俊吉君が本省殖產局長から府殖產局長にやつて來た▲それから渡邊廣君が營林所庶務課長から本省に入り、昨年は本多保太郎君が專賣局庶務課長から本省に入り、本省地方課長に、本省から一番瀨佳雄君が府殖產局庶務課長としてやつて來た事は耳新しい所であるが　その前に文書課にゐた事務官增本甲吉君が三年許りの現地勤務の經驗を持つて本省へ歸り、その頃本省から宇野未次郎君（現臺北州警務課長）が高雄州警務課長としてやつて來た▲斯う見て來ると大體に於て本省と府との人事は一名採れば一名入れる式のバーターシステムであり、最近は雙方とも障壁を設けず、それ相應に優遇してゐるが、渡邊君の場合の如き他に事情もあつたが、數年間を平事務官でくすぶらせられ、兎角異分子扱ひを受け勝ちであつた例もある▲城壁を堅く守つてその中に自己陶醉境を設けようとするのは官僚心理の一つではあるが、內外地人事も入替を行ふ以上一切の障壁を[illegible]

[illegible]者として[illegible]共に[illegible]されて[illegible]夫人を得て間も無くの內地行きは本人は本望だらうが責務としては聊か惜しい氣がする。

---

## 臺灣の化學工業・座談會 ⑥
# ジルコンの分布相當廣いらしい
## 海綠石は品質が

**加福**　[illegible]の方だ[illegible]

**服部**　セメント工業と云ふのに[illegible]を中心に申しませう

**加福**　石灰の次に鐵鑛を一纏めにして纏めませう、エナジヤイトは金屬石の重要な鑛物でありますが、又近邊には水銀鑛等も段々見つかつて來るのですがエナジヤイトは金と銀の鑛石として重要なものです、將來之に[illegible]

[illegible]て殺菌すべき事は先程[illegible]さんの仰言つた硫酸の製造、それに伴つて出て來る[illegible]を利用して殺菌劑を拵へるとか、[illegible]方面に限定されるか水銀マンガ[illegible]は丸ゝ切り手が[illegible]將來臺灣へはマンガン製造か[illegible]製造と云ふ[illegible]プロセスと云ふ[illegible]

**加福**　之は[illegible]いものらしい[illegible]事があるね

**服部**　[illegible]

[illegible]

ですね。あれをお話し

**服部**　よく詳しい事は知りませんがジルコンが臺灣にあると云ふ事は既に東海岸や基隆川にある事だけは分つてゐたが、[illegible]州下にある事が分つたのは一昨年です。之が品質はハツキリと分らないが、澤山あるものとすれば相當利用の途は廣いし、之を色々調べると可なり分布が廣いらしいのです

**加福**　それから海綠石について……

**服部**　新竹州下に一昨年と思ひますが海綠石がある事が分つた、それから大學の方が色々調べられた結果之も可なり分布が廣く品質がよい。海綠石は日本では今迄は樺太に出ただけでそれが色々騷がれたのですが（加里の原料にしようと云ふ譯で騷がれた）餘り品質がよくない。併し臺灣のはそれと比較すれば大變[illegible]れませんが——臺灣の中部以南の水は非常に硬度が高い爲めに色々な工業が發展するには都合が惡いだらうから之を軟化する爲めに軟化劑として之を利用し樣と考へてゐるのです。さう云つた有用資源があるにはあるのです。何處から發見されると云ふ事は研究の問題だらうと思ひます。

**濱口**　[illegible]

**服部**　[illegible]

**濱口**　之は[illegible]

**服部**　[illegible]

止したのではないのですか

**加福**　カリも中々面白いですね甘蔗が畑の中からカリを持つて行くから土の中に段々カリがなくなる。カリをやらなければならない筈だが、それをやらなくてもよい。これは多分土の中で分解して出來るのだね。之も海綠石の分布と云ふ事に若干關係がありはしないか。もう一つ面白い事は戰爭當時山の芭蕉を燒いてその灰を溶かして[illegible]

[illegible]

**座談會出席者**

| | | |
|---|---|---|
| 中研技師理博 | 加福 | 均三 |
| 同上農博 | 中澤 | 亮治 |
| 同上 | 服部 | [illegible] |
| 帝大教授 | 吉川 | [illegible] |
| 帝大助教授 | [illegible] | [illegible] |
| [illegible] | 中塚 | 佐一 |
| 同上 | 野副 | 鐵男 |
| 帝大教授理博 | 山本 | 亮 |
| 同上農博 | 三宅 | 捷 |
| 帝大助教授 | [illegible] | [illegible] |
| 帝大教授 | 濱口 | 榮次郎 |
| 專賣局技師 | [illegible] | [illegible] |
| [illegible] | [illegible] | [illegible] |

# 臺拓創立委員數日中に發表
## 官制公布と共
### 十七日事務[illegible]

[illegible]

---

本日夕刊共十六頁

●商業登記公告 [illegible]

●株式會社設立 [illegible]

●大成[illegible]合資會社 [illegible]

●合資會社基隆通運組 [illegible]

●有限責任[illegible]信用購買販賣利用組合 [illegible]

▲內科▼ 吉田內科醫院 臺北市[illegible]

大阪商船 [illegible]

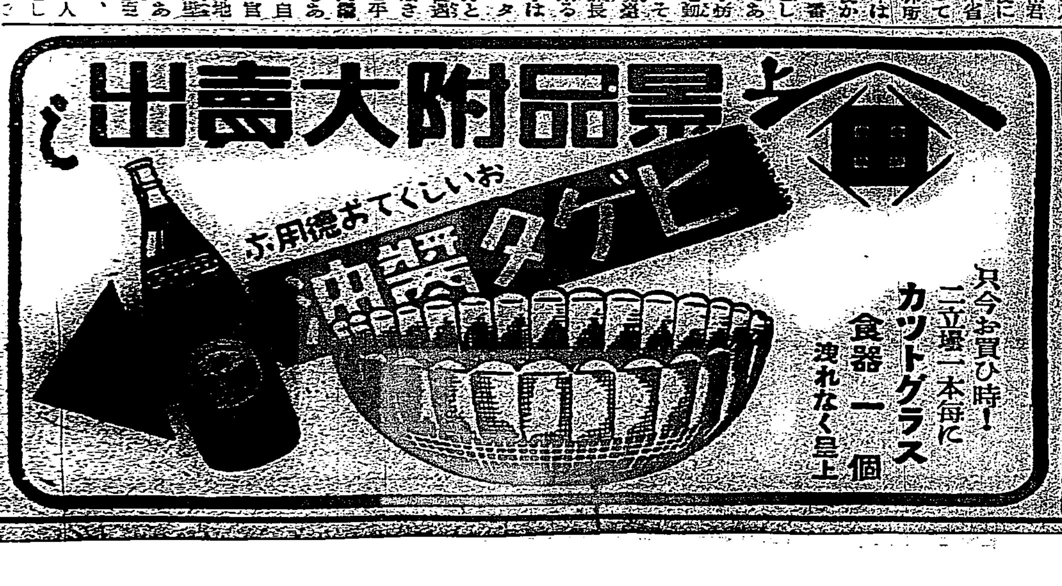
近海郵船 [illegible]

辰馬汽船 [illegible]

大連汽船 [illegible]

內科小兒科（入院隨意） 淺井醫院 臺北市[illegible] 電話四〇二番

高燥・閑雅・煤煙・絕對にない 販月數 賣賦地 健康地・高地給水設備あり 日之出土地商會 基隆市電話一一四三番


景品附大賣出し
ヒゲタ醬油
おいしくて御徳用
只今お買ひ時！
二立壜一本毎に
カットグラス
食器一個
洩れなく呈上

# 銷夏 讀者に聽く……④

一、新財源調達の途如何（時局稅新稅、增稅は何が適當か）
二、臺灣拓殖會社に對する希望
三、ボロ儲けと大損物語（實話に限る）
四、私の感謝と不平（實際生活に於ての）
五、私の座右銘、健康法、趣味、好きな人物

## [illegible]　村上玉吉

**一、新財源調達の意見**

燐寸の年產額は四千五百萬圓、その內六割までは兵庫縣の由、然るに兵庫の燐寸業者は殆ど失敗、此れ合併の要ありと內地の實業家は云つて居る。故に速に事實を實行し、西洋と同じくその利益を社會事業に充當するを得策と思ふ

**二、臺灣拓殖會社への希望**

臺拓の創立は、本島に於ける恐ての觀察を一掃するものとして歡迎に堪へない、併し拓務省の監督は、實地に臨る各州の知事などが果して膝を入れて働くかを危む。非營利會社だけに、一層その感を深くする

**三、ボロ儲けと大損物語**

儲けようと考へたことがないだけに、大損もなし、唯さゝやかり物に甘んじて唐日の計を立てゝつゝある。併し關係會社が潰れて、損をして居つた經驗はある

**四、私の感謝と不平**

不平があつては永住も出來ぬ道理、故にその日その日を、感謝で暮して居るに、間違ひはない

**五、私の……**

（イ）座右銘　大楠公の家訓を、山鹿素行が十道に改作し、更に尊宗須が座右の銘に揮宣したが、私の同縣人としての先輩、德川家康の「人の一生」の整つたのには及ばない。私は法華經に所謂「空相して實相を思へ」の一語を尊しとする

（ロ）健康法　少食多眠以外に私の健康法はない、但し若い時の兵隊生活が確に身體を鍛へた效果はあらうと思ふ

（ハ）趣味　勉めて勝負事を避け、不易に就き無我の境に遊ぶことを努める。若し遑あれば、讀書に旅行

（二）好きな人物　男なら南方熊楠翁、女なら山田わか女史

## 中研　服部武彦

**五、（ロ）眞の健康法**

私は世の所謂健康法なるものに餘り興味を有たぬ。人間は或る特殊の健康法を實行しなければ健康になれぬと思ひ惑るのは寧ろ不幸である。野球かスポーツか、强壯劑が人間を健康にするのだと思ふ傾むべき錯誤からまづ解脫しなければならぬ。高き淸き眞成宗教はその究極に於て「人間は神の子なり」「佛の子なり」といふに歸一する。人間が既に神の子である以上、病や不健康であるべきいはれがない。けれども現に世上には肉體的の又は精神的の不健康人が如何に多くウヨ／＼して居ることであるか、それは眞實神の恩惠に浴し得ぬからである。眞に神の大なる愛に抱擁らるゝとき、人間元來健康そのものなりとの自覺に到達するであらう。私は過去に於て私の役所中での病弱者の標本で病氣缺勤の大關であつた。然るに昨春心境に一大革命が起きて以來、永年痼疾の胃腸病も神經痛も忽然と消滅して爾來無缺勤で常に朗かに仕事を樂しみつゝある。だがそれは藥劑に倚つたのでも健康法に親しんだのでもなく唯心的變化が齎したに過ぎぬ。要するに眞の健康は「調和」にありと私は確信する、例へば主人がスポーツで肉體を鍛へても家へ戾つて夫婦喧嘩を始めるやうな家庭では、家庭それ自身が既に不健康であるから、その不調和の精神波動が家族の肉體に波及し病苦や不健康を具象化せざるを得ない。一家の不幸は一家の不調和から來るやうに個人の不健康は個人身心の不調和から來る、それ故に眞の健康を得べく身心の調和が第一義である。既に身心といふ以上、肉體の健康法のみに促はれてゐては達せられぬ。現代人の大なる缺陷は肉に走つて靈を省みぬことである、眞の健康法が單に肉體を整へることだけだと考へるのは大きな的はづれである。人々よ、靜かに內省して靈と肉とに健康であれ。

## 臺中　二瓶源五

**一、財產稅（動產不動產共）**

國防稅、本島人は兵役に服せず且軍費を負擔せざるを以て本島人のみに課す

ゴルフ稅

遊行稅、富豪の子弟にして徒に働かず奢淫を極め進取的國民の氣魄を害ふ事甚しきを以て之を奮起せしむるを要す

**二、島內**

大量移民の斷行、縱橫幹線道路の開設、山地の富源探險並開發、未開墾地の開拓、治水、國內消費不足品の生產と輸出品の生產

島外

南洋に大移民と事業勃興、支那と通商貿易の促進、交通通信機關の設置

**三、なし**

**四、感謝しあり不平なし**

**五、（イ）至誠無息**

（ロ）一寸の暇なく頭と體を使ふを以て病弱の隙なし晚酌は健康に拍車を加ふ

（ハ）獻身國家社會の爲めに働くのみ

（二）考へる暇なし

---

# 臺灣商工會議所法 實施は十月頃か

## 議員の資格標準決定に 實業界の關心が集中

臺灣商工會議所法案は目下拓務省に廻付中にて法制局を通過の上律令として公布實施を見るのは十月であらうとみられてゐるが、臺北商工會では同會議所制度實施に對し相當準備を進めてゐる模樣で、まだ制度の內容は嚴秘に付され一向窺知するを得ないので同會の幹部は可なり

**不安**

を抱いてゐるらしく過般木村泰治氏個人の名を以て「臺灣商工會議所制度實施に就て」と題するパンフレットが頒布されたのも總督府當局に於て此の新制度研究につき少しも島內實業團體の意向を徵することなく內地や朝鮮の例に倣ふやうなことでは臺灣の實情に適しないから寧しめ實業團體の中にも斯ういふ意見を抱くものもあるといふことを參考の爲めに關係官民に知らす目的に外ならないのであり、氏個人の

**希望**

は必ずしも臺北商工會側の希望でないにしても大體に於て商工會幹部の意向を窺知することが出來る卽ち會員の數は成るべく少くすること、會員資格の標準たる營業稅額は全島一率に二十圓以上程度とするやの響あるも臺北の如く人口多くして營業稅の二十圓以上、三十圓以上程度の納入者多きところでは全島各都市と同樣二十圓以上の標準では有資格者が餘りに多くなつて

**弊害**

を生ずる虞れあり假に營業稅額二十圓以上としても有資格者は三千人以上の驚くべき多數に上る見込である。議員は大體中數官選となる模樣であるが、議員數を成るべく少くするとしてサテどの位が果して適當かといふことが茲許り問題となつてゐるやうである。試に東京、廣島、金澤、博多の商工會議所議員數と經費を見る

| | 議員數 | 經費 |
|---|---|---|
| 東京 | [illegible] | [illegible] |
| 廣島 | [illegible] | [illegible] |
| 金澤 | [illegible] | [illegible] |
| 博多 | [illegible] | [illegible] |

卽ち東京に五十人近い

**議員**

を擁し三十萬六千餘圓の經費を使つてゐる、人口の點では臺北は二十八萬人で略博多に匹敵してゐるが、民度は臺北の方が低い事は云ふまでもなく臺北商工會の會員百餘人、經費約一萬圓から推して商工會議所設置の曉は議員數に先づ二十五人、經費二萬圓位が手頃ではないか、卽ち右諸都市の內金澤程度の議員數と經費が臺北に最もふさはしいのではなからうかと云はれてゐる

---

# 東京荷凭れに 蓬萊米は下向き

## 又復賣戾し商談出來

颱風は日本海を經て北海道に去り稻作には大して被害なきこと判明し天候も漸く回復に向つたので二十四日の定期米は引際軟弱の氣配で前日高値より二十二圓二十六錢と前日高値より二十二丁安に大引となり二十五日は天神祭の爲め定期は休會したが、東京は二十三圓十九錢と前日より十九丁安、神戶二十一圓八十九錢と十二丁安を告げ形勢不良に蓬萊米も賣氣續出し二十四日東京から七月積中部米神の十二圓五十錢、北部米十二圓四十五錢から四十錢で一萬五千袋一部移出商の節へ賣戾し商談出來し東京の荷凭れ不賣れを如實に物語つてゐる併し阪神からは弗々買つて來るが、期米安に買値も安く消極的である。正市は當限十圓六十五錢先限十圓六十七錢と前日より十丁以上安く北部現物も近物賣行不良の爲め十圓八十錢と十丁安を告げたが第一艦隊が基隆へ入港すると從來の例からみて荷役力二割方減退するといふので少しく早手廻しに現物を手當てし七月積契約米を積出した向もあるが、第一艦隊は颱風の爲め三十一日入港に變更された關係上七月積は月末を待たず積切りとなる模樣である因に最近迄の一期蓬萊米移出は二百二十七萬七千袋、九萬三千袋、在來米六萬三千袋に達した

---

# 珊瑚資金の 利下げ問題

## 臺銀との交渉は不調

臺灣水產會では從來臺灣銀行から珊瑚資金の融通を受け之を當業者に貸付けてゐるがその融通額の限度は十萬圓であり、利率は水產會が臺銀より受入れる場合は日歩一錢四厘、水產會から當業者へ貸付ける場合は一錢八厘乃至二錢となつてゐる。ところが當業者としては右の金利は高きに過ぎるといふので擧つて水產會に對し引下方を希望して來たのである。そこで中谷技師（臺北州水產會）長谷川技師（臺灣水產會）等は二十五日殖產局水產課に參集、臺銀の澤田支店長の出席を請ひ、利率引下方を申入れたが之に對し澤田支店長は日歩一錢四厘といふのは臺銀としては[illegible]これ以上の引下げには應じかねる、若しモツト低い利率にして欲しいならば低利資金（日歩一錢一厘程度）の融通を仰ぐより外ないであらう、それよりも寧ろ水產會の利幅四厘乃至六厘といふのがいささか多過ぎるのではあるまいかとの回答をなした、右により水產會としては却つて臺銀から逆襲を受けた形で結局金利引下交渉は不調に終つたが、理想案としては斷然[illegible]珊瑚相場に左右されてゐる當業者をこの狀態に放任するのは宜しくないから[illegible]國家[illegible]に移し、例へば國家から水產會を通して資金を融通するとか、水產會が一手に產物を引取つて販賣するとかいふ如き安全な途が必要だと思はれてゐる

---

# 南邦自動車 創立總會

## 社長は木村氏 專務は柴田氏

南邦自動車株式會社の創立總會は二十五日午前十時半より鐵道ホテル樓上に於て開催せられた、出席者五十一名、此株數九千百八十株委任狀五十八名、此株數四千六百七十三株、合計百九名、一萬三千八百五十三株（總株主百四十六名一萬五千株の內）に達し型通り先づ創立委員長木村泰治氏上京不在中に付創立委員柴田泰資氏開會を宣し創立委員長木村泰治氏上京不在中に付滿場の同意を得て西江桂三郎氏を議長に推し、西江氏議長席に着き第一號議案會社創立に關する事項報告をなし一同之を承認す次で第六號議案定款第百二十四條に依る調査及び其報告の件を議題に供し[illegible]氏を檢査役に指名し兩氏は檢査の結果を報告し滿場の承認を得た、次で第二號議案定款の件を附議し堀田眞猿氏より第三條會社の目的字句につき質問あり、猪股剛氏からも株劵の讓渡につき會社の承認云々の字句挿入方を希望するところあつたが結局第三條第四號の「代理並に仲介業務」を前各號に關聯する事業の代理並仲介業務」と修正し株劵の賣買は株主の自由とし會社の承認を要せぬことに決定、其他一二の質問ありしも右修正の外は原案通り議決となる、夫より第三號案取締役並に監査役選任の件は議長指名の下に次の如く選任された

▲取締役　高橋猪之助、松野茂介、小林要太郎、江原節郎、木村泰治、三卷俊夫、柴田泰資、西江桂三郎

▲監査役　池田又四郎、里田榮治氏

次で取締役互選の結果社長に木村泰治氏、專務取締役に柴田泰資氏當選した　從つて第四號案會社を代表すべき取締役も定款の定むる所に從ひ木村泰治、柴田泰資の兩氏と決定、第五號案、取締役並に監査役報酬の件は議長一任となり取締役は無報酬、社長、專務に對する報酬は五千圓以內と決定、之で議案全部を議了し專務に就任した柴田泰資氏は

昭和二年私がシボレーの北部代理店を引受けた當時島內の自動車數は僅に四百臺に過ぎなかつたが、現在は二千七、八百臺に上つてゐる、將來產業道路の普及整備に伴ひ一萬臺まで伸びる曉一臺の命數五年として年に二千臺の移入を必要とし、その四分の一、五百臺を當社で扱ふとしても相當に資金を要するわけであるが私は株主各位に對し責任を以て粉骨碎身此の國家的な業務の爲めに努力する決心であるから何卒各位の御指導御援護をお願ひする次第である

と挨拶し十一時三十分散會した

---

# 烏龍茶館は 原料仕入に狂奔

## 紅茶の賣行も[illegible]

[illegible]本週の茶況を見るに[illegible]の姿である。紅茶は[illegible]め夏茶漸く出廻り多量ならざるも其の代り品質は極めて良好で[illegible]は羽子が生へて飛で行くが中下茶に買手筋の探尋と値頃引合はず取引停頓し市況交渉である。烏龍茶に[illegible]

---

# 虎尾、龍巖、北港の 買蔗價格と奬勵金

## 特に立體的增收を奬勵

大日本製糖臺灣支社各製糖所の十一、十二年期甘蔗栽培奬勵規程は既に全部發表されたが、就中虎尾、龍巖、北港三製糖所の分につき要點を摘記すると原料買收價格は原料代千斤二圓とし之に植付月別と收穫時期により等差を設けたる割增金を付し次の如く定めてある

**虎尾の買收價格**

| 收穫時期 | 七、八、九月植 | 十月以降植 |
|---|---|---|
| 十二月末以前 | 三、二〇錢 | 三、〇〇 |
| 一月上半 | 三、三〇 | 三、一〇 |
| 同　下半 | 三、四〇 | 三、二〇 |
| 二月中 | 三、五〇 | 三、三〇 |
| 三月上半 | 三、六〇 | 三、四〇 |
| 同　下半 | 三、七〇 | 三、五〇 |
| 四月上半 | 三、八〇 | 三、六〇 |
| 同　下半 | 三、九〇 | 三、七〇 |
| 五月一日以降 | 四、〇〇 | 三、八〇 |

（備考）北港製糖所の買收價格は四月上半迄は虎尾と同價格なるも四月十六日以降刈取りの分は七、八、九月植三圓九十錢、十月以降植三圓七十錢となつてゐる

前期に比し平均三十錢方の引上げとなつてゐるが、此外に種々な奬勵項目あり殊に立體的增收奬勵に意を用ゐてある、卽ち植付奬勵金は

▲虎尾と龍巖

| 植付時期 | 奬勵金 |
|---|---|
| 七月中 | 甲當七〇圓 |
| 八月上半 | 六五 |
| 同　下半 | 六〇 |
| 九月上半 | 五〇 |
| 同　下半 | 四五 |
| 十月中 | 四〇 |
| 十一月中 | 三五 |
| 十二月以降 | 三〇 |

▲北港の分

| 植付時期 | 甲當收穫八萬斤以上 | 同六萬斤以上 |
|---|---|---|
| 七月中 | 甲當七〇圓 | 五五圓 |
| 八月上半 | 六五 | 五〇 |
| 同　下半 | 六〇 | 四五 |
| 九月上半 | 五〇 | 三五 |
| 同　下半 | 四五 | 三〇 |
| 十月中 | 四〇 | 二五 |
| 十一月中 | 三〇 | 二〇 |

右の外增收奬勵金を植付時期と甲當收量の如何により次の如く交付す

▲虎尾製糖所

| 七月乃至十二月植 | |
|---|---|
| 甲當十三萬斤以上 | 甲當一〇圓 |
| 同　十五萬斤同 | 一五 |
| 同　十八萬斤同 | 三〇 |
| 同　二十萬斤同 | 四〇 |
| 同　廿五萬斤同 | 五〇 |
| 一月以降植 | |
| 甲當十萬斤以上 | 一〇圓 |
| 同　十二萬斤同 | 一五 |
| 同　十五萬斤同 | 三〇 |
| 同　十七萬斤同 | 四〇 |
| 同　二十萬斤同 | 五〇 |

▲龍巖と北港

| 七、八、九月植 | |
|---|---|
| 甲當十三萬斤以上 | 甲當一〇圓 |
| 同　十五萬斤同 | 一五 |
| 同　十八萬斤同 | 三〇 |
| 同　二十萬斤以上 | 四〇 |
| 十月以降植 | |
| 甲當十萬斤以上 | 甲當一〇圓 |
| 同　十二萬斤同 | 一五 |
| 同　十五萬斤同 | 二〇 |
| 同　十七萬斤同 | 三〇 |

尙虎尾では特殊蔗園奬勵金甲當八十圓以內を水田集團奬勵金甲當一百圓以內を、北港では特殊蔗園の奬勵金甲當二十圓以內を交付し、龍巖では特殊作業奬勵金甲當二十圓以內を交付することになつて居り排水施設補助金は虎尾、龍巖、北港三製糖所共交付す

原料調製奬勵金は虎尾、龍巖は千斤に付二十錢以內を、北港は品質特に優良なるものには第一次搾汁の濃度を參照し每千斤二十錢以內の奬勵金を交付し調製優良なるものには千斤二十錢以內の奬勵金を交付することになつてゐる、耕作資金は虎尾と龍巖は七、八、九月植每甲一百圓以內、十月以降植八十圓以內、北港は七、八月植每甲八十圓以內、十月以降植六十圓以內を融通し利率は月五厘とし前期より二厘方引下げてある

---

# 一期丸糯米は安し

## 蓬萊より七、八十錢下鞘

### この邊が底模樣

一期丸糯米は前年二期產の高値に刺戟されて作付面積激增し總督府農務課では之が收穫高豫想を十八萬一千八百二十六石と發表してゐるが民間人の觀測筋では二十萬石に近い收穫が得られるのではないかと見てゐる、一方主要消費地たる內地は糯が拂底してゐる割に買つて來ず之がため値は蓬萊米の下押しと共にます／＼安く、二十五日現在基隆、高雄兩移出港貨車乘渡百斤建現物相場は北部物の十四圓十一錢、中部物の十四圓十六錢、南部物の十四圓下タを唱へ前日に比し北部物は三十三丁、中部物二十九丁、南部物二十五丁安となつてゐる、同日の蓬萊現物相場北部の十四圓八十錢、中部の十四圓九十六錢、南部の十四圓六十五錢に比べて七、八十錢下鞘である、併し內地糯の拂底は明らかであり、需要筋は追々食指が動き出すものと見る向が多いからこの邊が或は底に近いのではないかとも見られてゐる

---

# 神戶市場で東 新拔け解合

【神戶飛行便】取引所改革案が唯一片の「延期」であるとしても業者に對する暗雲は未だ明朗なるものとは言ひ得ず諸株軒並安を見せてゐる折柄二十四日迄休止の新東は神戶市場にて賣買、姫田兩店その他にて約四千株百二十一圓で拔け解合成立し後五十錢安なら解合に應じる賣方ありと人氣は更に惡化してゐる

---

# 商況（廿五日）

（臺中電話）

**島內米肥**

**臺米現物相場**

| | 基隆高雄貨車乘渡百斤 | 前日對比 |
|---|---|---|
| 南部一期在來米 | 九、七三 | 七安 |
| 北部一期蓬萊米 | 一〇、八〇 | 一〇安 |
| 中部一期蓬萊米 | 一〇、九六 | 一〇安 |
| 南部一期蓬萊米 | 一〇、六五 | 五安 |
| 北部一期丸糯米 | 一〇、一一 | 三三安 |
| 中部一期丸糯米 | 一〇、一六 | 二九安 |
| 南部一期丸糯米 | 一〇、〇〇 | 三五安 |

**基隆在庫米**

| | 二十五日朝現在 | |
|---|---|---|
| 一期蓬萊米 | 二六二、五〇九袋 | |
| 一、二期蓬萊白米 | 一五、〇五九 | |
| 一期丸糯米 | 九、八二七 | |
| 二期丸糯米 | 一、三二五 | |
| 一、二期丸糯白米 | 三九三 | |
| 二期長糯白米 | | 四大 |
| 二期在來白米 | | 三大 |
| 合計 | 二八七、〇〇五 | |
| 外に籾 | 三三六車（四、三三五噸） | |

**高雄在庫米**

| | 二十五日朝現在 |
|---|---|
| 一期蓬萊米 | 七〇、四〇二 |
| 二期蓬萊白米 | 一、〇七三 |
| 一期丸糯米 | 三、九一三 |
| 一期在來米 | 七、七六四 |
| 一期在來白米 | 七八二 |

**正米市況後場**

▲二期蓬萊米

| 當限 | 中限 | 先限 |
|---|---|---|
| 一〇、六五 | 一〇、六四 | 一〇、六八 |
| 四車 | 四車 | 二二車 |

▲二期丸糯米　各限不申

**島內肥料相場**

現物基隆倉渡

| | |
|---|---|
| 大豆油粕 | 二圓七五錢 |
| 獨安 | 一〇圓二〇錢 |
| 內地硫安 | 九圓二〇錢 |
| 過燐酸（七貫五入一五%） | 一圓〇七錢 |
| 同（七貫五入一九%） | 一圓二〇錢 |
| 硫酸加里四八% | 一四圓〇〇錢 |

---

# 世界造船界 ―驚異の的―

# 二萬噸の大捕鯨船 日新丸

## タツタ五ヶ月の超スピードで竣功

### 八月一日進水式擧行

【神戶飛行便】英、諾等の優勢[illegible]に伍して南氷洋上に乘出し捕鯨日本に氣を吐く[illegible]神戶川崎造船所に於て我國捕鯨の而も最大の捕鯨船日新丸二萬噸を建造中の處豫定通り世界造船界驚異の超スピード建造により着工以來百五十六日目全く來る八月一日進水式を擧行する運びとなつた而も進水時間は午前十分前の午前四時四十五分と云ふので川崎造船所では參列者の便宜の爲め[illegible]を一時間繰上げ進[illegible]する[illegible]當局に交渉中であつた[illegible]であるのに一川崎の[illegible]にない[illegible]の記錄[illegible]と[illegible]に迄つて[illegible]上げ[illegible]になつた[illegible]進水式は[illegible]

---

# 石鹼販賣會社 遂に解散

島內石鹼製造業者の共販機關たる臺灣石鹼販賣會社は昭和九年二月創立後約二年間營業を續けたが內地石鹼のダンピングに惱まされ島內石鹼の販賣高激減し且つ赤字を出すに至つたので昨年末を以て共販を休止し各社の自由販賣となつてゐたが今般之を解散することになり廿四月臺灣石鹼會社內同事務所に總會を開き解散を決議し淸算人に古屋貞雄、池澤仁三郎の兩氏を選任した、同社の資本金は十萬圓內拂込二萬五千圓であるが負債四萬二千圓を有し拂込金を差引き尙一萬八千圓を株主から持出さねばならぬ事になつてゐる、因に石鹼販賣會社と同時に創立された石鹼原料會社は東光會社と松野氏が株主となつて島內石鹼業者へ原料を供給してゐたが之も存在價値がなくなり本月中頃を以て全く解散したが之は負債なく積立金を有するので拂込金二萬五千圓の外に利益金の一部[illegible]株主へ戾りがある筈である

---

# 金融保證制を設け 中小商工金融を整備

## 商工省が國策として[illegible]

[illegible]

△中小工業對策

一、地方工業化に依る下請工業を積極的に助長する
一、全國中樞地に技術指導所を設ける外補助其の他各種技術の指導に主力を置く
イ、工業組合法を改正する
ロ、同業組合統制加入の免除
ロ、強制命令發動は協定事項を單なる組合の申合せに止めず國家的權力による事項とする

△中小商業對策

一、商業組合法の改正
イ、中央會の人格確立
ロ、同業組合の統制加入の免除
一、同必要に應じては百貨店或は商店街法を制定する
一、特に大都市では地區的、卽ち商店街を單位とする商業組合の結成普及

---

# 大阪灣米移入 協會總會

【神戶飛行便】大阪灣米移入協會では過日定時總會にて役員改選の結果左記の通り決定した

會長　岸本合資社長木哲夫、副會長　山西商店山西芳雄、會計　白井音治郎、幹事　桂俊次、奧村米治郎、井上長賦、臺石糯米株式會社常任相談役　山西定吉、顧問　田中治兵衛、木間久一

---

# 阪神青果市況

【神戶飛行便】阪神青果市況はその後一進一退を續けつゝあるが二十一日入港瑞穗、長野兩船積では高雄もの最低大阪にて一籠八十錢神戶にて一圓十錢と云ふ珍安値を見せ神戶の總平均値は二圓九十錢にて三圓を割となつた兩市場の値を揭げると次の通りである（單位錢）

| 神戶市場 | 最高 | 最低 | 平均 |
|---|---|---|---|
| 臺中 | [illegible] | [illegible] | [illegible] |
| 臺南 | [illegible] | [illegible] | [illegible] |
| 高雄 | [illegible] | 一一〇 | [illegible] |
| 總平均 | | | [illegible] |
| **大阪市場** | | | |
| 臺中 | [illegible] | [illegible] | [illegible] |
| 臺南 | [illegible] | [illegible] | [illegible] |
| 高雄 | [illegible] | 八〇 | [illegible] |
| 總平均 | | | [illegible] |

---

# 日本食料が ベ石鹼會社買收

日產の子會社日本食料では殺て朝鮮油脂を買收朝鮮に於ける魚油方面をその統制下に置き今度は如何なる方面に進出するか注目されてゐたが、愈々その油脂を原料とする石鹼方面に手を出すことになり尼ヶ崎市外なるベルベツト石鹼の買收說が急速に進展近く實現を見る筈である。卽ちベルベツト石鹼（資本金二百萬圓）はその株殆んどを神戶瓦斯會社が所有し臨時主務たる商工省では瓦斯會社が斯る株を所有することの不可なるを力說適當に手離すべきを主張しつゝ且吉野商工次官の如きはその手離す方法につき斡旋日食との合併說を運んだが結局瓦斯會社がさうした株を持つことも不可とし買收說となつたもので資本金二百萬圓と借入金百五十萬圓併せた三百五十萬圓前後にて今月中に調印を見る筈で日食では多分增資の上之に應ずることとなる模樣である、尙ベルベツトには現在石鹼の外グリセリンその他數種の重要なる製品を出してゐるが全機能を擧げフルで製造する場合は我國石鹼の約八割迄も製造し得るだけに今後日食の動向注目さる

---

# 臺中米價（二十五日）

[illegible]

---

# 株式

## 東京株況前場

【東京二十五日發】新東の値頃同復案外根強い所から長期市場も突込筋の踏退きに値頃思ひの新規買を誘發して全面的に再硬化の商狀であつた、長期、紡績株では鐘紡五、六十錢高他も一、三十錢方引締り帝人の二事一圓五十錢高を中心に倉敷以下二、六十錢高、砂糖株は日糖新帝糖新六、八十錢高、日產系諸株、日鐵其他五、八十錢高て五、八十錢方上伸し石川島以下船渠株も總じて高、電力株も軒並にに小堅、東株當四十錢安、新は三十錢高に大引け、短期、新東は休日經勞未だ新規買を誘致するに至らないが引續き軟派の手當延長の相場で前日より五十錢高の百二十四圓寄付から四圓十錢の高値に上伸したが後戾賣りに押へられ二圓九十錢まで下押し引際二圓掠みに浮動し他も總じて小締りの市況で特に日產系諸株の再躍進注目され日鐵は新拂込說有力で一圓四十錢高、日產の二圓八十錢高が特に目立つた

## 大株雜觀

【大阪廿五日發】將來新東に代るべきものは採算株にして多分に投機的色彩を持つ日產であらうとされてゐたが今次の取引所改革案事件から日產の人氣は急角度に向上し優勢買あり東京方面の買動をよく消化し新値から新値へと飛躍し前途樂觀の東新買りに對し人氣同復の日產買となり東新は買力增大の軟派の民賣人氣に壓され新値には投物潜在し種株の好調に反し無氣力を免かれなかつた

---

# 穀肥

## 大連特產前場

| 大豆 | 寄 | 引 |
|---|---|---|
| 七月限 | 八、五〇 | 八、四八 |
| 八月限 | 八、四六 | 八、四三 |
| 九月限 | 八、〇四 | 七、九一 |
| 十月限 | 六、九三 | 六、九〇 |
| 十一月限 | 六、五三 | 六、五二 |

---

# 爲替

## 臺銀建値

| | |
|---|---|
| [illegible] | 一志二片 |
| [illegible] | 二九弗四分一 |
| [illegible] | 七七弗四分一 |
| [illegible] | 二〇二 |
| [illegible] | 二〇二圓 |
| [illegible] | 一七〇四四分三 |
| [illegible] | 一〇四四八分一 |
| [illegible] | 一〇四四八分一 |
| [illegible] | 一〇四四八分一 |
| [illegible] | 八八[illegible] |
| [illegible] | 一〇九[illegible] |
| [illegible] | 一〇九[illegible] |

---

油斷は禍ひの因

清淨梅毒の危險

治療は正しく●●●●

眞の梅毒專門藥で

[illegible]てゐる結果で、既に梅毒に惱む人は勿論、梅毒罹患の疑ひある人、然うした人々が、治療に、豫防に、內服すれば、血液、淋巴液その他に潜在する菌毒を殺滅排除し、又毒素の硬結部を和らげ、[illegible]

—溫泉浴や海水浴にも斯うした危險が伴ふ—

夏季には、總て動物體は異常の過熱を受けるので、細胞に活動を起し、總じて皮膚や體內臟器の活動力が旺になり、[illegible]

初期　第一期、第二期の順序を踏み、治療を怠る時は、梅毒は內臟に及び一方神經の[illegible]

胃腸　その他の[illegible]

必ず　傳染するのです。それに、[illegible]

體內　に潛在するトレポネーマでありますから、之[illegible]

混浴　から傳染する人が非常に多い。殊にこの節の[illegible]

梅毒と體毒　梅毒性吹出物に

ベルツ丸

獨逸ベルツ博士

SUZUKI-NIPPON-SEIYAKUSHA

梅毒、淋毒、痔毒、瘰癧、しつ毒、ひえ毒、せきする病、頭瘡、濕疹、[illegible]梅毒性吹出物ニキビ、動脈硬化症、梅毒性疾患等に[illegible]

定價　六日分一圓・十二日分二圓・廿日分三圓・卅五日分五圓・七十五日分十圓・百六十日分二十圓・二百六十日分三十圓　送料四十一錢・代引十五錢增

東京市日本橋區濱町二丁目四十三番地

發賣元　鈴木日本製藥社　社主　鈴木[illegible]

振替東京百五番　電話茅場町八十番・九十番

臺北市[illegible]、臺中市[illegible]、臺南市[illegible]、各地有名藥店にあり